

花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書 第22集

特別養護老人ホーム別棟建設関連遺跡 発掘調査報告書

平成28年度調査

上館遺跡

2018.2

社会福祉法人 感謝の心
岩手県 花巻市教育委員会

特別養護老人ホーム別棟建設関連遺跡 発掘調査報告書

平成28年度調査

かみ だて
上館遺跡

例 言

1. 本書は、平成28（2016）年度に特別養護老人ホーム「花あかり」別棟の建設に伴い、社会福祉法人 感謝の心（理事長 森田敏雄）より記録保存を目的とした発掘調査（報告書作成を含む）業務の依頼を受け、花巻市がこれを受託し、花巻市教育委員会が調査を行った「上館遺跡（岩手県遺跡コードME36-0172）」の発掘調査報告書である。
2. 調査地点と面積及び調査の実施期間は次のとおりである。
岩手県花巻市南城106-7、107-1 458㎡
野外調査：平成28年6月20日～8月30日
室内整理：平成29年5月8日～平成30年2月28日
3. 発掘調査の主体及び担当者は、次の通りである。
調査主体者：花巻市教育委員会 教育長 佐藤 勝
調査総括者：花巻市教育委員会 教育部文化財課 課長 酒井 宗孝
同 埋蔵文化財係長 村田 豊隆（H28年度）
同 埋蔵文化財係長 佐藤 幸泰（H29年度）
調査担当者：橋本 征也（花巻市教育委員会教育部文化財課埋蔵文化財係 上席主任兼学芸員）〔主担当〕
菊池 賢（花巻市教育委員会教育部文化財課埋蔵文化財係 上席主任兼学芸員）
高橋 純（花巻市総合文化財センター 学芸調査員）
吉田 宗平（花巻市総合文化財センター 学芸調査員）
4. 本書の執筆は酒井・橋本が行い、編集は橋本・菊池が行った。
5. 本書に掲載の遺物写真は、高橋・吉田が撮影した。
6. 調査および整理作業は、次の方々のご協力を得た。感謝申し上げる。
野外調査：阿部幸藏・大野信幸・佐藤隆重・佐藤弘・菅原武志・高橋綱記・立花健治
千田豊・新淵君雄・原田香理・平賀美知子・平藤達也・堀岡まゆみ・盛川義雄
八重樫廣明・當久保克信
室内整理：浅沼めぐみ
7. 出土陶磁器の鑑定については、羽柴直人氏（公益財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター）よりご教示をいただいた。感謝申し上げる。
8. 本遺跡の出土遺物及び図面・写真等の発掘調査資料は、花巻市総合文化財センターにて保管している。

目 次

例 言

I	調査に至る経過	1
II	遺跡の立地と環境	1
III	調査方法と整理方法	6
IV	検出された遺構と出土遺物	8
	(1) 竪穴建物跡	8
	(2) 溝跡	16
	(3) 焼土遺構	19
	(4) 土坑	20
	(5) 柱穴状ピット群	21
	(6) 小溝跡	22
V	まとめ	30
(神団)		
第1図	遺跡の位置	2
第2図	周辺の遺跡と奥州街道	4
第3図	遺跡周辺の地形分類	5
第4図	グリッド配置図	6
第5図	遺構全体図	7
第6図	1号竪穴建物跡	9
第7図	2号竪穴建物跡	11
第8図	3号竪穴建物跡	12
第9図	4号竪穴建物跡	14
第10図	1～4号竪穴建物跡出土遺物	15
第11図	1～4号溝跡	18
第12図	柱穴・ピット群(1)(調査区北半)	23
第13図	柱穴・ピット群(2)(調査区南半)	24
第14図	土坑・柱穴・ピット・焼土断面	25
第15図	溝跡・柱穴・ピット内及び遺構外出土遺物	28
第16図	H25(第1次)調査区と今回の調査区	31
報告書抄録		45

(表)

表1	土坑・柱穴計測表	26
表2	出土遺物観察表	29

(写真図版)

写真図版1	調査区遺構ほか	32
写真図版2	調査区全景ほか	33
写真図版3	1号竪穴建物跡	34
写真図版4	2号竪穴建物跡ほか	35
写真図版5	3・4号竪穴建物跡	36
写真図版6	焼土	37
写真図版7	溝跡(1)	38
写真図版8	溝跡(2)	39
写真図版9	土坑・柱穴(1)	40
写真図版10	柱穴(2)	41
写真図版11	奥州街道の松茎本ほか	42
写真図版12	1～4号竪穴建物跡出土遺物	43
写真図版13	溝跡・柱穴・ピット内及び遺構外出土遺物	44

I. 調査に至る経過

平成 28 年 5 月 9 日付けで、社会福祉法人「感謝の心」理事長森田敏雄氏(以下、届出人)より花巻市教育委員会(以下、市教委)に対して、特別養護老人ホーム建設に伴う埋蔵文化財発掘の届出が提出された。開発予定地は、縄文時代から平安時代の集落跡、中世の城館跡、近世の道路跡が複合する上館遺跡の範囲内であり、平成 25 年度に東側の隣接地において同様の施設の建設に伴う発掘調査が実施され、多くの遺構と遺物が出土したことから、埋蔵文化財の残存する可能性が極めて高いことが想定された。

市教委では、平成 28 年 5 月 11 日付け 28 花教文第 2-7 号により当該地への試掘調査の必要性を届出人に通知し、同 5 月 13 日に試掘調査を実施した。試掘調査は、重機により幅 1.5 m、長さ 22 m と 31 m のトレンチ 2 本を南北方向に設定して遺構・遺物の有無を確認した。その結果、柱穴状の小土坑多数、堅穴建物、溝状遺構などが検出された。

この試掘結果を基に、届出人と市教委との間で埋蔵文化財に対する保護措置に関する協議を行ったが、遺構が周辺全体に及ぶことが推定されるため、建物の建設位置の変更による対応措置ができないこと、建物の構造上、地盤改良を含む深い基礎工事が必要なこと等により、埋蔵文化財の現状保存が困難であることが確認され、施設の建設にあたっては、建物建築予定部分の全面を対象とした記録保存のための発掘調査が必要であるとの結論に至った。

発掘調査は、特別養護老人ホームの建設であるため、原因者負担の原則により実施した。すなわち、届出人より平成 28 年 5 月 31 日付け文書にて市教委が埋蔵文化財発掘調査の依頼を受けたため、協議を行い、調査費用(室内整理費、報告書刊行費を含む)の合意に達したことから、発掘調査委託契約を平成 28 年 6 月 16 日に締結した。

II. 遺跡の立地と環境

1 遺跡の立地と地形・地質(第 1～3 図)

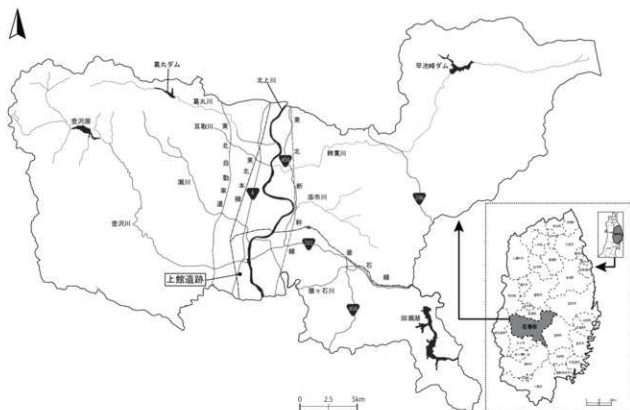
上館遺跡は、花巻市役所の南約 1.7 km に位置し、北上川と豊沢川による河岸段丘上に立地する。遺跡の範囲は、今回の調査区である南城地区の北端部から桜町 4 丁目の東側にかけて広がり、宮沢賢治詩碑(羅須地人協会跡)付近を東端とする約 75,000 m²である。

調査区付近の標高は 82 m 前後、東側の北上川氾濫原との比高差は約 16 m で急峻な崖地形を呈する。北側には、小規模な沢地形が東西に入る他、北西方向にも低地帯が存在し、北東部と区分される地形となっている。なお、調査区を含めこれより南西部は、周囲より 2 m ほど高い微高地となっている。

周辺の地形は、中川久夫氏(中川他:1963 b)、渡辺満久氏(渡辺:1991)、小岩直人氏(小岩:2001)による研究があり、中位の段丘として村崎野段丘(渡辺:M1 面、小岩:村崎野面)、下位の段丘として金ヶ崎段丘(内上位の面を渡辺:L1 面・小岩:花巻面、下位の面を渡辺:L2 面・小岩:南城面)に区分している。村崎野段丘は、下部に焼石連峰を噴出源とし 4 万年～7 万年前の年代が推定されている村崎野浮石を伴う黒沢尻火山灰に覆われるが、金ヶ崎段丘は更新世の火山灰は載せないとされている。

平成 25 年度及び今回の調査区は、中川氏の金ヶ崎段丘、渡辺氏の L2 面、小岩氏の南城面に相当する。しかし、平成 25 年度調査の際、黒褐色土(Ⅱ層)の下位に褐色～明褐色を呈する火山灰層(Ⅲ層)の堆積が確認された。また、Ⅲ層の下部には粒径 1～3 cm の発泡の良い浮石の混入が見られた。なお、調査区の西方約 700 m には、約 12 m の比高差を有する村崎野段丘相当面があり、この面では厚い黒沢尻火山灰層の堆積がある。

これらの観察事項について筆者らは知見を持ち合わせず、判断は専門家に委ねるが、地形及び地質における成果の報告とする。なお、今回の調査においても同層は確認され、この上面が最終的な遺構の検出面となった。



第1図 遺跡の位置

2 基本層序 (第12図東壁)

今回の調査区では、近・現代の擾乱を多く受けており、実際の調査においては確実な分層発掘を実施していない。比較的残存状況の良い調査区南西部分の観察と平成25年度の調査結果を参考にして、当遺跡の基本層序とする。

- I層 現表土及び下層の盛土や擾乱層を含む。調査区北側ではⅢ層の上部に及ぶ堆積が見られた。
- II層 黒褐色土 層厚20～30cm。中世から縄文時代までの文化層を包含するが、分層は難しい。下部は、Ⅲ層との漸移層となる。なお、中世の堅穴建物は当層を掘りこんで構築されている。
- III層 褐色～明褐色土 層厚不明。段丘の縁辺に近い平成25年度の調査区では、50cm以上の堆積が確認され、下部には粒径3cm前後の発砲の良い浮石を含むことが観察された。前述のとおり、焼石連峰を起源とする黒沢尻火山灰と考えられ、浮石は村崎野浮石と考えられる。(※本層は報文中において、一部「地山」と表記する箇所がある。)
- IV層 明褐色砂礫層 平成25年度の調査で確認された層で、段丘の基盤を為す構成礫層と考えられる。

3 歴史的環境

(1) 周辺の遺跡 (第2図)

花巻市内には平成29年現在、1,006か所の埋蔵文化財包蔵地が岩手県遺跡台帳に登録されており、旧花巻市内には318の遺跡がある。また、上館遺跡が所在する花南地区には30か所の遺跡が分布するが、以下に周辺の遺跡で過去に調査された遺跡を紹介する。

旧石器時代の遺跡では、市内最古の遺跡で石器の形態から2～3万年前に遡る可能性を持つ石器が出土した山の神地区の宿内遺跡がある。また、豊沢川南岸の段丘縁辺には、縄文時代～古代、中近世までの遺跡が分布しており、縄文時代では晩期の墓壙や埋設土器が発見された不動Ⅰ・Ⅱ遺跡、平安時代の集落である桜町Ⅰ遺跡、不動Ⅰ・Ⅱ遺跡がある。また、幕末から明治時代初期にかけて陶磁器やレンガを生産し、短い期間ではあったが盛岡藩の御小納戸支配職人を務めた花巻焼の窯跡がある。

(2) 上館について

上館遺跡については、藩政時代の文献に多くの言い伝えが残されている。江戸時代に花巻の町医者であった五世松井道門の著とされる『和賀質郷村誌』に「○上館 伝言 此処古へ源頼義公御陣所トいふ。然ハ是花巻城に安倍権籠り攻給う時の向陣場歟 其後此村の主も是に居や 此所を上館とし 南の故城を下館と云成へし」とあり、前九年合戦に関わる史跡であること、その後の頭首の居住地であることを指摘している。また、『内史略』『稗貫郡日記』には、「村老伝へて云 十二丁目上館は頼義公の陣取られし所也 又これより東北に物見の鼻と云所有 皆頼時征伐せらる時から ここに陣場を構へられし名の今に残れりと云々」とあって、やはり前九年合戦との関係を記述している。なお、遺跡の範囲には含まれないが、調査区の南側に接する地域は、官軍が陣を張った際に将兵のための炊事をした場所として「釜場」と呼ばれている。

中世における当地の地域地頭は、稗貫郡の重臣であった十二丁目伊藤氏である。十二丁目伊藤氏は、上館の南約1kmにある十二丁目城(獅子ヶ鼻城)を本城としたが、『参考諸家系図』には「祐光 始十二丁目氏 伊藤石市之助(伊藤家系譜では右馬助とある) 上館二居、永禄中、稗貫氏ノ旗下、大迫某叛ク、稗貫大和守爾忠兵ヲ発シテ之ヲ打ツ、祐光父子従軍ス、大迫伏兵ヲ半途木戸ヶ沢ニ設ケテ不意ヲ討、稗貫ノ兵大ニ狼狽ス。祐光一人殿リシテ力戦ス。敵小地沢筑前カ為ニ木戸ヶ沢ニ討死ス六十余」とあって、上館が永禄年間(1558～1570)に大迫氏の反乱鎮圧に出陣して討死した伊藤祐光の居館であったことが記されている。

なお、「稗貫郡日記」に云う「東北に物見の鼻」とは、地形的に見て遺跡範囲の北東端部にあたる宮沢賢治詩碑の一角と考えられる。

しかし、現状は前述のとおり調査区の北側に入る沢地形が、堀の役目を果たす他には堀や土塁など城館跡としての施設は全く失われている。今回の調査により、中世城館に関係する遺構・遺物が発見されたことにより、文献を裏付ける資料が得られたことは大きな成果と言える。

(3) 奥州道中と岩崎道について (第2図)

狭義の奥州道中(奥州街道)は、千住から宇都宮までを日光道中(街道)と兼ね、その先の白沢から白河までの十宿を含めた二十七宿を指し、幕府の道中奉行の支配下となっていた。白河以北の街道は、脇街道として幕府の勘定奉行の取り扱いとなり、一般的には本街道の延長とみなされて奥州道中(街道)と呼ばれることが多いが、各到着地を冠して仙台道、盛岡道中、盛岡道、南部街道、松前街道などと多様な呼び方があった。

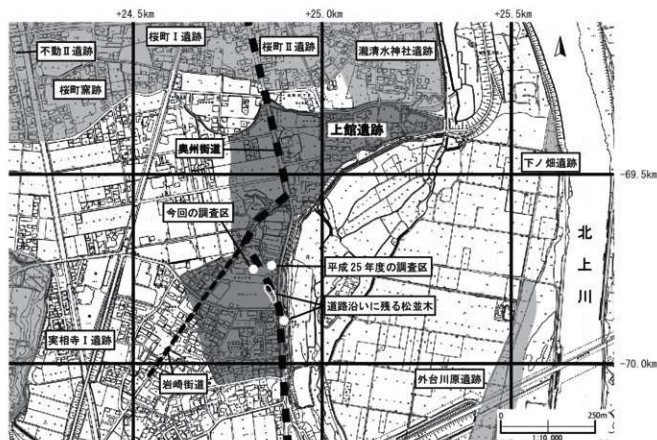
徳川幕府により寛永12年(1635)に実施された参勤交代により、各大名は定期的に江戸での勤務を命じられ、これに伴い街道の整備も進められた。盛岡藩では、明暦3年(1657)、二代藩主南部重直の命により、領内の街道の整備が行われ、寛文5年(1665)には、和賀・稗貫地区の用水建設に尽力した藩士・奥寺八佐衛門定恒が私費を投じて高木から苗を買い入れ、花巻から鬼柳までの街道に松並木を設置した。

当時の松並木は、調査区の南方約50mの南城小学校校庭内に3本、現道東脇に1本の巨木が各残りの松として残っているほか、調査区の北西側の道路脇には昭和47年頃まで数本の松並木が残存していた。

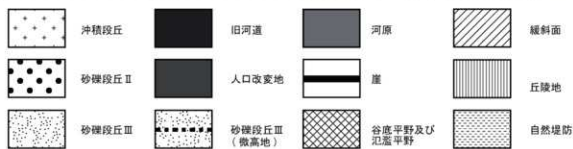
また、調査区南側の沢地形に沿う形で、南西から延びる道が奥州道中に合流している。この道は、和賀町岩崎に向かうもので「岩崎道(街道)」と呼ばれ、奥州道中整備以前の主要道として使用されていた古道である。慶長6年(1601)、前年に花巻城を攻めて落とせず、岩崎城に籠城した和賀忠親の一揆討伐のために南部利直率いる軍勢が出陣・凱旋の際に通った道である。岩崎城からの凱旋の際、当地において月が上り、これを見た将兵が勝利を讃える歌を歌いながら踊り、これが一帯に伝わる「奴踊り」の基になったと伝えられている。

なお、当該地は奥州道中がこの沢地形を避けるため西側に迂回する部分にあたり、一度岩崎街道に入った後南東に向きを変えて南城小学校校庭を通り現道に続いていた。現道の改修時期についての資料は無いが、昭和初期の花巻町全図では迂回部分が確認できる。

今回の調査では、奥州道中の側溝と考えられる溝跡が検出され、近世・近代の道路遺構の貴重な情報が得られたことは大きな成果と言える。



第2図 周辺の遺跡と奥州街道



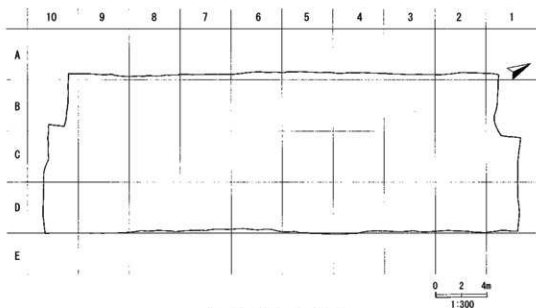
第3図 遺跡周辺の地形分類

Ⅲ. 調査方法と整理方法

1 調査方法

(1) 調査区及びグリッド設定 (第4図)

調査対象とする範囲は、予定された建物の基礎設置範囲 (長辺約 38 m、短辺約 12 m の長方形) とした。測量及び遺物取り上げの基準とするグリッドは、便宜上、調査対象範囲に合わせて設定した。すなわち、上記の長方形の長辺、短辺に平行する軸を設け、これを 4 m 四方に区画するメッシュを設定し、北西の端点を原点として南西方向には 1～10、南東方向には A～E の番号と記号を付して A 1、B 2 等と呼称した。なお、基準とした軸や点は平面直角座標値に基づくものではなく、全くの任意での設置であり、方位表示は全て磁北とした。



第4図 グリッド配置図

(2) 調査方法

試掘調査の結果、表土以下の土層は、盛土や近・現代の攪乱が卓越していて、遺物の包含は認められなかったため、重機により褐色土層 (第Ⅲ層) 直上まで除去し、その後人力によって遺構の検出作業を行った。検出された遺構はグリッド名と種類を併せて A 1 堅穴建物跡、B 2 土坑等と命名した。

遺構の精査にあたっては、堅穴建物跡は 4 分法、土坑類は 2 分法を原則として埋土の状態を観察し、重複状況や新旧関係の把握に努めたが、必要に応じて他の方法も併用した。

検出された遺構は、トータルステーションによる簡易的な遺り方測量により、平面・断面の実測図を作成したが、一部平板による測量も併用した。縮尺は 1/20 を原則とし、平板での測量は 1/100 で実測図を作成した。

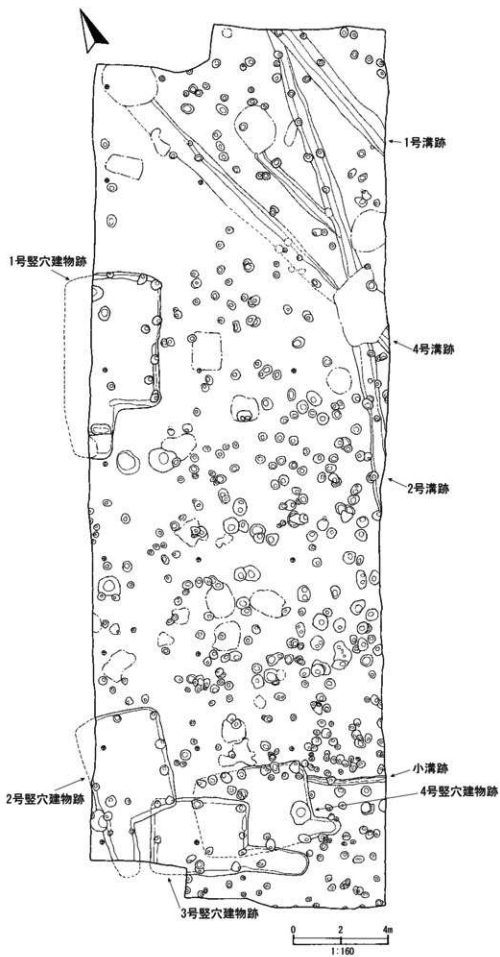
出土遺物の取り上げは、遺構内出土遺物は遺構名、出土層位を、遺構外からの遺物はグリッド名、出土層位を記して取り上げた。

写真撮影は、デジタル一眼レフカメラをメインに工事現場用カメラを補助として、精査の各段階に応じて適宜撮影した。

なお、調査成果の公表の場として、平成 28 年 8 月 11 日に現地説明会を開催した他、平成 29 年 1 月 21 日に「花巻の遺跡を学ぶ会」において調査結果を発表した。

2 室内整理

室内整理では、出土遺物の洗浄、分類、接合、写真撮影を先行させ、この後に実測とトレースを行った。遺構図面は、第二原図の作成後これをトレースして図版化し、併せて写真図版を作成した。



第5図 遺構全体図

IV. 検出された遺構と出土遺物

今次調査で検出した遺構は、竪穴状遺構4棟、溝跡4条、焼土遺構4基、小溝跡1条、土坑5基、柱穴状ピット436基である。出土遺物の総量は中コンテナ（容量34ℓ）1箱分出土しており、うち25点を実測・掲載した。

(1) 竪穴建物跡

1号竪穴建物跡（遺構：第6図・写真図版3、遺物：第10図・写真図版12）

〔位置・検出状況〕 調査区北半西側のB4～B5グリッド付近に位置する。東半の約2/3程を検出しており、西半の一部は調査区外となる。Ⅲ層上面で検出したが、断面の観察によるとⅡ層上面から掘り込みが確認できる。遺構の重複は特に見られないものの、床面で検出した柱穴配置から建替え（拡張）が想定される。一方、南側の張出し部では近年の掘乱を受けている。

〔形状・規模〕 全体形は南北に軸方向（磁北より28°東傾）をもつ隅丸長方形（東西2.9m以上・南北5.7m）に、南側の西寄り付近に入り口状の張出し部（東西1.1m以上・南北2.1m）を加えた形状とみられる。検出（Ⅲ層上）面からの深さは約40～50cmあるが、断面におけるⅡ層上からの深さは約60～70cmを測る。

壁面は直立気味に立ち上がり、床面は平坦である。床面には北～東～南壁の一部に壁周溝が巡るほか、壁際を中心に大小13基の柱穴・土坑状ピットを確認している。壁周溝の規模は、幅10cm・深さ2～3cm前後である。

柱穴状ピットは直径30～40cm・検出面からの深さ50～60cmの規模であり、うち柱痕跡（直径12～20cmの円形、概ね17～18cm大が主）をもつものはp2・p3・p4・p5・p6・p7・p8・p11の8基であるが、その配置からみて全て同一時期のものとは言い難い。このうち、p3・p9・p10の3基は壁内部の壁際列（p4～7）とはずれた位置に並んでおり、断面観察で遺構の切り合いが観察されないことからみると、これら3基の柱穴は古期の建物跡に伴う（東壁際の）柱穴列とみることができ、本遺構は南側及び東側へ（西側は不明）拡張された可能性が指摘できる。p2とp11もこれらと同じ古期に伴うものとみると、東西間数は不明であるものの、南北の間数は2間⇒3間へ拡張されており建物規模が拡大された状況が伺える。

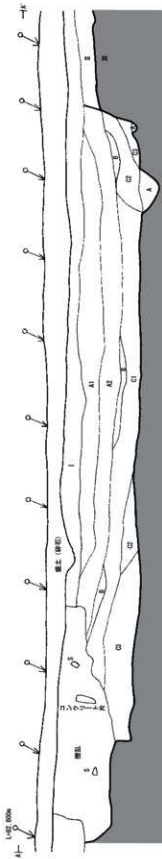
また、張出し部中程にある段差はこの旧期建物跡に伴う張出しの南壁ととらえれば、建物拡張に伴い張出し部も南側へ拡張したものと推定できる《旧期建物跡の推定規模等：南北に軸方向（磁北より20°東傾）をもつ隅丸長方形（東西2.6m以上・南北4.7m程）に、南側の西寄り付近に入り口状の張出し部（東西1.1m程・南北1.8m程）を加えた形状》。

建物内部は、新期建物跡が東西2間・南北3間の柱配置となり、柱間寸法は約1.6～2.0m（約5～7尺）を測る。一方、想定される旧期建物跡は東西2間・南北2間となり、柱間寸法は約1.4～2.2m（5～7尺前後）を測る。

〔埋土・堆積状況〕 A～C層に大別され、さらに上位のA層は2層また下位のC層は3層に分かれる。A層は粘性のあるぶい黄褐色土で、B層は泥炭質ブロックを主体とする黒褐色土、C層は所々に酸化し泥炭質ブロックを含む褐色土となる。うち、A層及びC1層はⅢ層起源の粒子～ブロックを霏降り状もしくは塊状に含んでおり、人為的に埋め戻された様相を呈している。なお、床面に貼床状の堆積土は確認されなかった。

〔出土遺物〕 遺物は埋土中から1～7が出土しており、1は中世とみられる陶器（常滑焼）片、2～5は古代の土師器片のうち2・3は同一個体の坏片、6・7は縄文時代の土器片のうち6は口縁部、7は磨蝕の顕著な底部片である。なお、2～7は埋土堆積の過程で周囲より混入したものであろう。

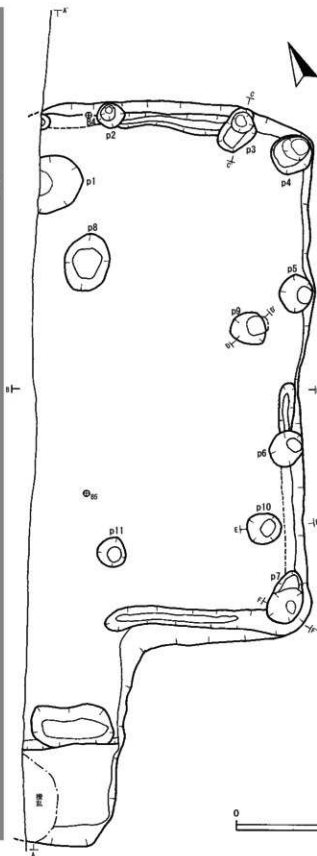
〔時期〕 床面の出土遺物はないが、遺構の形状からみて中世の遺構とみられる。



ピットA層: 19792/4 黄褐色 ややしめる
粘性中あり、地山混~ブロック
20%混

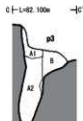
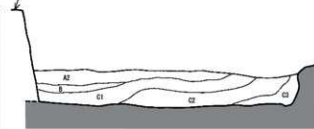
層構成A層: ピット1のA層と類似する層相

ピットNo.	グリッド	開口直径 (cm)	深さ (cm)	底面径長径 (m)
ピット1	A4	51x48	17.0	81.355
ピット2	B4	30x28	77.0	81.111
ピット3	B4	49x34	110.0	80.984
ピット4	B4	43x42	119.0	80.830
ピット5	B4	41x37	82.0	80.966
ピット6	B4	40x36	62.0	80.915
ピット7	B5	57x41	101.0	80.989
ピット8	B4	60x49	10.0	81.459
ピット9	B4	43x33	57.0	80.900
ピット10	B5	35x33	51.0	81.023
ピット11	B5	34x31	30.0	81.225



ピットB層: 19792/3 黄褐色 ややしめる
粘性中あり、地山混~ブロック
20%混

層構成B層: ピット1のB層と類似する層相



A1層: 19792/4 黄褐色 ややしめる
地山混~ブロック 10%混 示径 20 cmの柱状

A2層: 19794/4 黄褐色 ややしめる 粘性あり
地山混~ブロック層状に 20%混
底質~ブロック層状

B層: 19795/6 黄褐色 湿くしめる 粘性強い
地山混~ブロック主体 70%~80%混

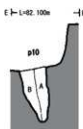
C1-L42.100m -D'



A層: 19792/3 黄褐色 ややしめる 粘性中あり
地山混~ブロック 20%混 示径 13 cmの柱状

B層: 19795/6 黄褐色 湿くしめる 粘性強い
地山混~ブロック主体 70%~80%混
黄褐色土との混生

D-L42.100m -D'



A層: 19792/3 黄褐色 ややしめる 地山混~ブロック 10%混
示径 15 cmの柱状

B層: 19795/6 黄褐色 湿くしめる 粘性強い
地山混~ブロック主体 70%~80%混
黄褐色土との混生

E-L42.100m -E'



A層: 19792/3 黄褐色 ややしめる 地山混~ブロック 20%混
示径 15 cmの柱状

B層: 19795/6 黄褐色 湿くしめる 粘性強い
地山混~ブロック主体 70%~80%混
黄褐色土との混生

F-L42.100m -F'



(A'-C', B-D')

A1層: 19795/3 に近い黄褐色 湿くしめる 粘性強い
地山混~ブロックを構成 (19792/3) に近い黄褐色
土に 30~40%混 (黄褐色土・黄褐色土との混生)

A2層: 19794/3 に近い黄褐色 湿くしめる 粘性あり
地山混~ブロック (19795/6) 混成土に 全層層状
に 20%~30%混 底質~ブロック層状

B層: 19792/3 黄褐色 湿くしめる 粘性あり 底質質ブロック
主体 (60~70%混) 地山混~ブロック 20%混

C1層: 19794/4 黄褐色 湿くしめる 粘性あり 地山混~ブロック
層状に 20%~30%混 (黄褐色土との混生) 底質質
ブロック層状

C2層: 19792/3 黄褐色 湿くしめる 粘性あり 底質質ブロック
層状に 20% (70%) 地山混~ブロック 20%~30%混
黄褐色土との混成土

C3層: 19792/3 黄褐色 湿くしめる 粘性あり 底質質ブロック
20%~30%混 地山混~ブロック 20%~30%混
黄褐色土との混成土

2号竪穴建物跡（遺構：第7図・写真図版4、遺物：第10図・写真図版12）

〔位置・検出状況〕 調査区南半西側のB8～B10グリッド付近に位置し、西半の一部及び南半張出し部の一部は調査区外となる。Ⅲ層上面で検出したが、断面の観察によるとⅡ層上面から掘り込みが確認できる。遺構の重複関係は3号竪穴建物跡及び4号土坑をそれぞれ切っており、またp9に切られる。

〔形状・規模〕 全体形は南北に軸方向（磁北より15°東傾）をもつ隅丸長方形（東西3.4m・南北4.5m）に、南壁側の西寄り付近に出入り口状の張出し部（東西1.3m・南北1.5m以上）を加えた形状である。検出（Ⅲ層上）面からの深さは約40～50cmあるが、断面におけるⅡ層上からの深さでは約90～100cmを測る。

壁面はほぼ直立気味であり、床面は平坦で張出し部に向かって緩やかに立ち上がっていく。西壁の一部に壁周溝が巡るほか、壁際を中心に大小10基の柱穴・土坑状ピットを確認している。柱穴状ピットは直径30cm内外・検出面からの深さ40～50cmの規模であり、うち張出し部付近のp1・p10は径20cm内外とやや小ぶりの平面規模となる。そのうち、柱痕跡（直径10～20cmの円形）をもつものはp1～8・p10の9基であり、大概直径15cm大のものが多く、張出し部付近は直径10cmと小ぶりになる。建物内部は、東西2間・南北3間の柱配置となり、柱間寸法は約1.1～1.5m（4～5尺前後）を測る。

〔埋土・堆積状況〕 A～D層に大別され、さらに上～中位のA・B層は3層また下位のC層は2層に分かれる。A層は粘性が強くⅢ層起源の粒子～ブロックを霜降り状もしくは塊状に含むにぶい黄褐～暗褐色土で、B層はしまりがありⅢ層起源のブロックを塊状に含む所々に酸化する黒褐～黄褐色土、C層は明黄褐～黒褐色土、D層は壁際中心に堆積する黒褐色土となる。A・B層の層相からみて、人為的に埋め戻された様相を呈している。なお、張出し部では層厚10cm前後の貼床とみられる構築土（E層 粘性強く固くしめる灰黄褐色土）を確認しており、厚さに変動はあるが壁際を除く建物内部に広く検出されている。

〔出土遺物〕 遺物は埋土中から8～11が出土しており、8は瓦質土器の口縁部片で、中世のものの可能性があるが小片のため判断としない。9・11は同一個体で、白色を呈し表面に平行タタキ目を残す古代の須恵器大甕片、10は先端を欠損するが、縄文時代の棒状を呈する石鏃である。なお、9～11は埋土の堆積過程で周囲より混入したものであろう。

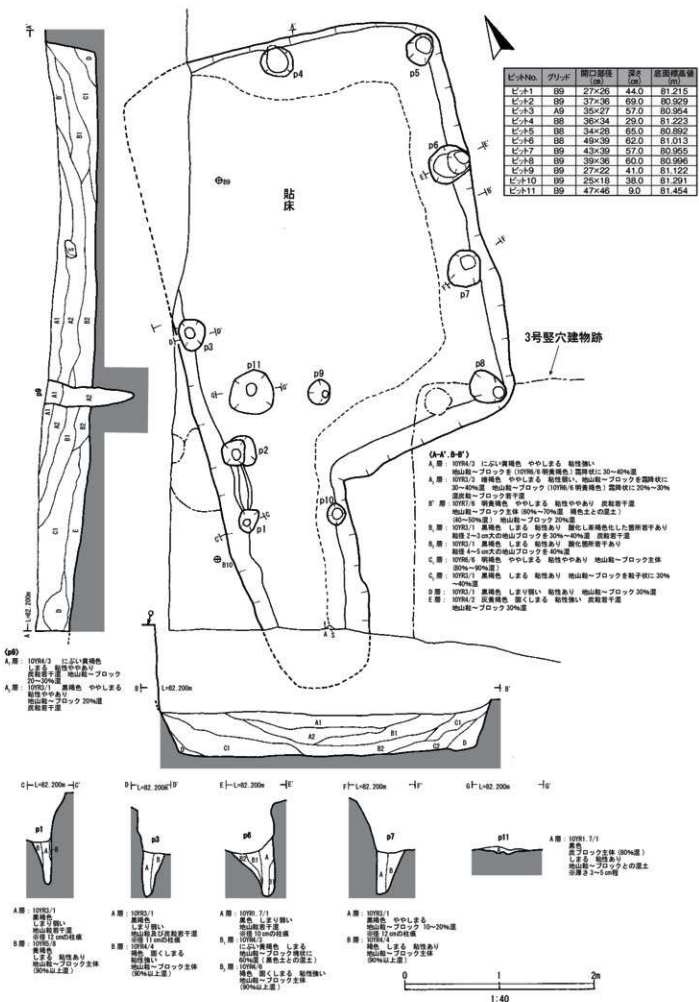
〔時期〕 床面の出土遺物はないが、遺構の形状からみて中世の遺構とみられる。

3号竪穴建物跡（遺構：第8図・写真図版5、遺物：第10図・写真図版12）

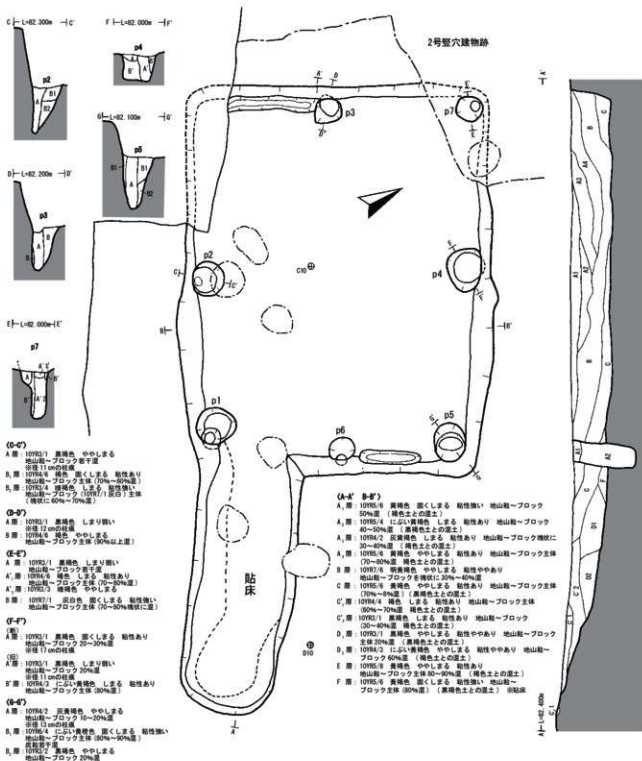
〔位置・検出状況〕 調査区南半のB9・C9・B10・C10・D10グリッド付近に位置し、西南半の一部は調査区外となる。Ⅲ層上面で検出したが、断面の観察によるとⅡ層上面から掘り込みが確認できる。遺構の重複関係は2号竪穴建物跡及び4号竪穴建物跡、さらに複数のピット（東西断面ほか）にそれぞれ切られている。

〔形状・規模〕 全体形は東西に軸方向（東西辺は磁北より28°東傾）をもつ隅丸長方形（東西4.1m・南北3.2m）に、東壁側の南寄り付近に出入り口状の張出し部（東西2.5m・南北1.0m）を加えた形状である。検出（Ⅲ層上）面からの深さは約40～50cmあるが、断面におけるⅡ層上からの深さでは約60cmとなる。

壁面はほぼ直立気味となり、床面は平坦で張出し部に向かって緩やかに立ち上がっていく。西壁及び東壁の一部に壁周溝が巡るほか、壁際を中心に13基の柱穴状ピットを確認しているが、約半数は本遺構埋没後に新しく掘られた柱穴であり、配列の規則性からみて都合7基が本遺構に関わるものと推定された。柱穴状ピットは直径30～40cm内外・検出面からの深さ50cm内外の規模である。うち、p4は深さ30cm内外とやや浅くなり、埋土内で別遺構の柱穴（p4西南の浅い柱痕（A層））と重複しているが、平面位置から後述する4号竪穴建物跡に伴うものの可能性もある。全てに柱痕跡（直径12～16cmの円形）が認められ、大概直径15cm前後のものが多い。建物内部は、東西2間・南北2間の柱配置となり、柱間寸法は約1.5～1.8m（5～6尺）を測る。



第7図 2号堅穴建物跡



ピットNo.	グリッド	開口部径 (cm)	深さ (cm)	底面積 (cm ²)
ピット1	C10	44×42	77.0	80.996
ピット2	C10	37×33	57.0	81.076
ピット3	B9	31×26	53.0	81.173
ピット4	C9	47×43	36.0	81.284
ピット5	C9	46×33	45.0	81.219
ピット6	C9	30×26	51.0	81.183
ピット7	B9	32×29	62.0	90.941

第8図 3号竪穴建物跡

〔埋土・堆積状況〕 A～E層に大別され、さらに上位のA層は4層に下位のC層は3層に分かれ、また下位のD層も2層に細分される。A層は粘性が強くしまりⅢ層起源の粒子～ブロックを多く含む黄褐色～灰黄褐色土で、B層は明黄褐色土、C層は粘性がありⅢ層起源の粒子～ブロック主体の黄褐色～黒褐色土、D層はⅢ層起源の粒子～ブロックを含む黒褐色～にぶい黄褐色土、E層は壁際を中心に堆積しⅢ層起源の粒子～ブロック主体の黄褐色土となる。A～D層の層相からみて、人為的に埋め戻された様相を呈している。なお、張出し部の始まり付近では最大層厚10cm前後の貼床とみられる構築土（F層 粘性強く固くしまる黄褐色土）を確認しており、厚さに変動はあるが張出し部の壁際を除く建物内部に広く検出されている。

〔出土遺物〕 遺物は検出面上から12の古代に属する須恵器破片が出土しており、外面に透明な自然釉がかかるものである。また図示していないが、縄文土器の小片2点が埋土中より出土している。これらは、埋土の堆積過程で周囲より混入したものであろう。

〔時期〕 床面の出土遺物はないが、遺構の形状からみて中世の遺構とみられる。

4号竪穴建物跡（遺構：第9図・写真図版5、遺物：第10図・写真図版12）

〔位置・検出状況〕 調査区南半のC9・D9・C10グリッド付近に位置する。Ⅲ層上面で検出したものであるが、西半はこの面が掘り込まれないために範囲は不明確となっている。遺構の重複関係は3号竪穴建物跡及び東側の小溝跡を切り、さらに複数のピット（南北断面ほか）にそれぞれ切られている。

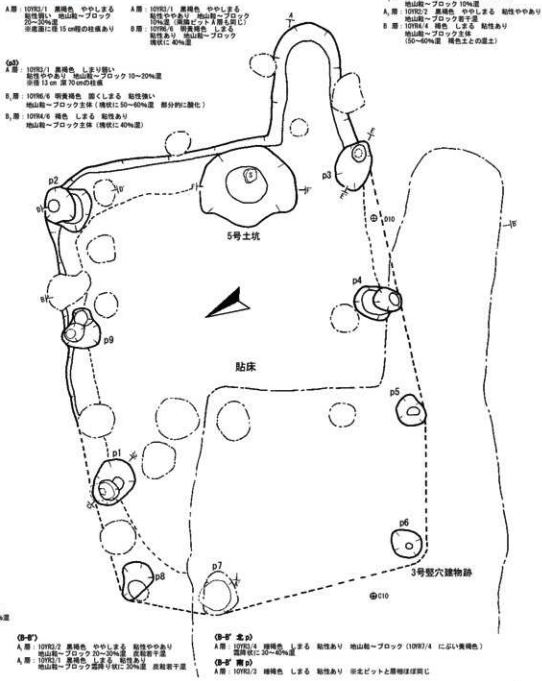
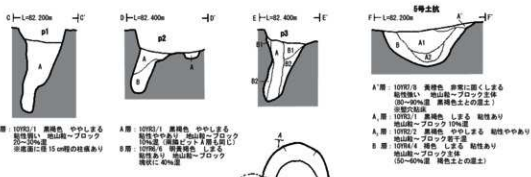
〔形状・規模〕 全体形は壁の残りが良くないために推定の域を出ないが、東西に軸方向（東西辺は磁北より15°東傾）をもつ隅丸長方形（東西（推定）4.9m・南北3.6m程）に、東壁側の南寄り付近に出入り口状の張出し部（東西1.2m・南北0.7m）を加えた形状とみられる。検出（Ⅲ層上）面からの深さは、北辺一部～東辺を除く部分でこの面が掘り込まれないために詳細は不明であるが、確認可能な部分で約5～15cm程を測る。掘り込み面は不明であるが、他遺構の例からみて少なくともⅡ層上面からは掘り込まれるものと推定できる。

壁面の立ち上がりは不明であり、床面は平坦で張出し部に向かってかなり緩やかに立ち上がっていく。壁周溝は確認出来ず、壁際を中心に23基の土坑・柱穴状ピットを確認しているが、多くは本遺構に伴うものではなく、その前後の異時期に掘られた柱穴とみられる。配列の規則性からみて、p1～6・8・9の都合8基が本遺構に関わるものと推定される。柱穴状ピットは直径30～50cm内外・検出面からの深さ50～90cm内外の規模であるが、うちp1は深さ90cm程と他に比べて深く、内部の深さ60cm程に段差があるためこれが本遺構に伴うもので、新しい柱穴に切られている可能性がある。柱痕跡が明確に認められる柱穴は見られなかったが、柱穴底面の状況によれば大概直径10cm前後の円形のものが多い。建物内部は、東西3間・南北1間の柱配置となるようであるが、柱穴の重複状況により判断としない。柱間寸法は北辺と南辺で約1.2～1.7m（4～6尺前後）、また推定される西辺と東辺で約2.9～3.4m（10～11尺前後）を測る。

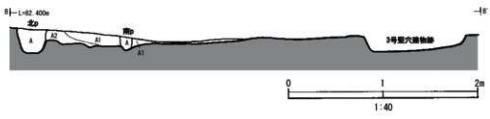
〔埋土・堆積状況〕 A層は上下2層に細分されるが、Ⅲ層起源の粒子～ブロックを霏降り状に含み、炭粒を若干混入する黒褐色土となる。層相からみて人為的に埋め戻された可能性もあるが、埋土の大半が検出不能であったため詳細は不明である。なお、数cm以下の層厚であるが、貼床とみられる固くしまる構築土を壁際を除く建物内部において確認している。

〔出土遺物〕 遺物は埋土下層から13の縄文土器片が1点出土しており、LR横の地文がつくものである。埋土の堆積過程で、周囲より混入したものとみられる。

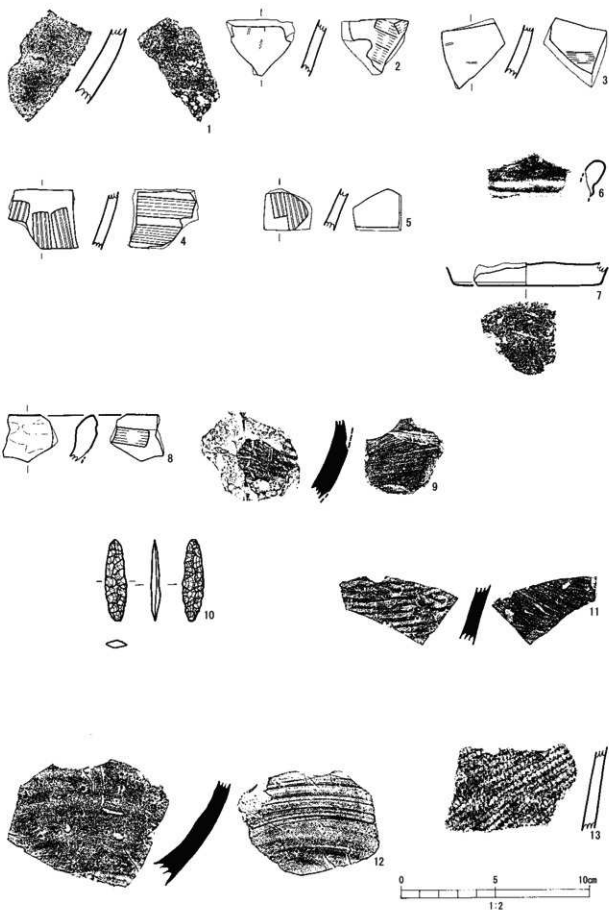
〔時期〕 床面の出土遺物はないが、遺構の形状からみて中世の遺構とみられる。



ビットNo.	グリッド	開口長さ (cm)	深さ (cm)	底面標高値 (m)
ビット1	C9	53×37	99.0	81.179
ビット2	D9	42×33	64.0	81.446
ビット3	D9	53×36	69.0	81.531
ビット4	C10	30×27	65.0	81.438
ビット5	C10	34×31	73.0	80.996
ビット6	C10	36×29	36.0	81.295
ビット7	C9	47×43	36.0	81.284
ビット8	C9	44×40	78.0	81.296
ビット9	C9	43×41	76.0	81.327



第9図 4号整穴建物跡



第10圖 1~4号壑穴建物跡出土物

(2) 溝跡

1号溝跡 (遺構：第11図・写真図版7、遺物：第15図・写真図版13)

〔位置・検出状況〕 調査区北半のC1・C2・D2グリッド付近に位置し、西北方及び南東方はそれぞれ調査区外へ伸びている。掘り込み面は近年の削平等の造成により失われており、Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係は2号溝を切っており、複数のピットと重複しているが新旧関係は不明である。

〔形状・規模〕 南北方向に直線的に伸びる溝跡（走向の軸線は磁北より15°西傾）であり、調査区内で長さ7.5m程確認したものである。断面形は、逆台形状を呈する。規模は、上面幅80～100cm程（90cm（3尺）平均）・底面幅25～30cm程（1尺前後）であり、検出（Ⅲ層上）面からの深さは約20～40cm（30cm平均）ある。

底面の形状は平坦であるが、地形に合わせて若干北方へ向かい傾斜している。壁面はやや直立気味に立ち上がるもので、丁寧に掘り込まれている。

〔埋土・堆積状況〕 A・B層に分かれ、また下位のB層はさらに2層に細分される。A層は小礫を多く混入し固くしまる黒褐色土、B層はⅢ層起源の粒子～ブロック主体で粘性の強い褐色～黄褐色土であり、両層とも人為堆積土とみられ、埋め戻されているようである。

〔出土遺物〕 遺物は14・15の土製品と磁器片が埋土中から出土している。14は窯道具で、陶製の脚付き焼き台である。本遺跡の北西方約0.5kmにある「桜町窯跡」は、幕末～明治初期に操業の「花巻焼」を生産した窯跡であり、これに関連する遺物とみられる。15は近代以降とみられる磁器皿である。他に図示しなかったが、近代以降の鉄製品片（ローマ字ネーム刻印付き、刀子か）が1点出土している。

〔時期〕 底面からの出土遺物はないが、埋土より江戸時代末の遺物が出土しており、しっかり掘り込まれている点や旧奥州街道を踏襲した地割範囲（第16図内の点線範囲）の内部に位置する点等からみて近世の遺構（奥州街道の西側側溝か）とみられる。

2号溝跡 (遺構：第11図・写真図版7・8、遺物：第15図・写真図版13)

〔位置・検出状況〕 調査区北半のC1・C2・D2～D6グリッド付近に位置し、北方及び南東方はそれぞれ調査区外へ伸びている。Ⅲ層上面で検出したものであるが、調査区東壁断面の観察によれば掘り込み自体はⅡ層上面よりなされているようである。遺構の重複関係は1号溝に切られるもので、さらに多数のピットと重複しているが多くは本遺構を切っているものとみられる。

〔形状・規模〕 南北方向に直線もしくはやや弧状気味に伸びる溝跡（走向の軸線は磁北より10°東傾）であり、調査区内で長さ18m程確認したものである。断面形は、舟底型を呈している。規模は、上面幅40～80cm程（60～70cm平均）・底面幅20～50cm程（30～40cm平均）を測り、検出（Ⅲ層上）面からの深さは約15～30cmである。底面の形状は比較的平坦で、南北方向で明確な傾斜は見られない。壁面は、緩やかに立ち上がっている。

〔埋土・堆積状況〕 調査区東壁では壁際にB層（にぶい黄褐色土）が部分的に観察されたが、主体はA層のみであり、これは上下2層に細分される。A層は、しまり粘性ともある黒～黒褐色土である。

〔出土遺物〕 遺物は、埋土中よりわずかに16の縄文土器片（口縁部、縄文晩期か）が1点出土したのみである。

〔時期〕 遺物の出土が限られ詳細は不明であるが、埋土の状況や溝の走向軸線が2号堅穴建物跡及び4号堅穴建物跡と比較的近い（東へ10°前後）こと（第5図参照）からみて中世に属する遺構の可能性がある。

3号溝跡（遺構：第11図・写真図版7・8）

〔位置・検出状況〕調査区北半のC2・D3グリッド付近で、部分的に確認されたものである。掘り込み面等は失われており、Ⅲ層上面で検出したものである。重複関係は2号溝を切っており、北半は木根とみられる攪乱に切られている。

〔形状・規模〕南北方向に直線的に伸びる溝跡（走向の軸線は磁北より20°西傾）であり、長さ4.8mにわたって確認されたものである。断面は、やや東側壁が立つが全体として浅い掘り込みとなる。規模は、上面幅35～50cm程・底面幅20～30cm程であり、検出（Ⅲ層上）面からの深さはわずかに4～6cm程である。

底面の形状はほぼ平坦であるが、地形に合わせてわずかに北方へ向かい傾斜している。

〔埋土・堆積状況〕A層のみで、炭粒を若干混入し固くしまり粘性のある暗褐色土であるが、後述する4号溝のA2層と層相が近似しており、人為的に埋め戻された可能性がある。

〔出土遺物〕遺物は出土していない。

〔時期〕出土遺物がなく、埋土も残りが悪いため詳細は不明であるが、4号溝と走向や埋土が近似する点からみて近世以降（近代か）の遺構とみられる。

4号溝跡（遺構：第11図・写真図版7・8）

〔位置・検出状況〕調査区北半のB2・C2・C3・D3・D4グリッド付近に位置し、西北方及び南東方はそれぞれ調査区外へ伸びている。Ⅲ層上面で検出したものであるが、調査区東壁断面の観察によれば掘り込み自体はⅡ層上面よりされている。遺構の重複関係は、南半で2号溝と重複しているが攪乱により新旧関係は不明である。しかしながら、本遺構は1号溝に平行するなど近世の旧奥州街道に由来するものとみられるため、2号溝よりは新しくこれを切っていると推定される。また、北端も木根状の攪乱により切られている。

〔形状・規模〕南北方向に直線的に伸びる溝跡（走向の軸線は磁北より18°西傾）であり、調査区内で長さ17m程確認したものである。断面は、やや東側壁が立ち西側に浅い段がつく形となり、全体として浅い掘り込みとなる。規模は、上面幅50～110cm程（90cm（3尺）平均）・底面幅10～30cm程であり、検出（Ⅲ層上）面からの深さは15cm前後である。

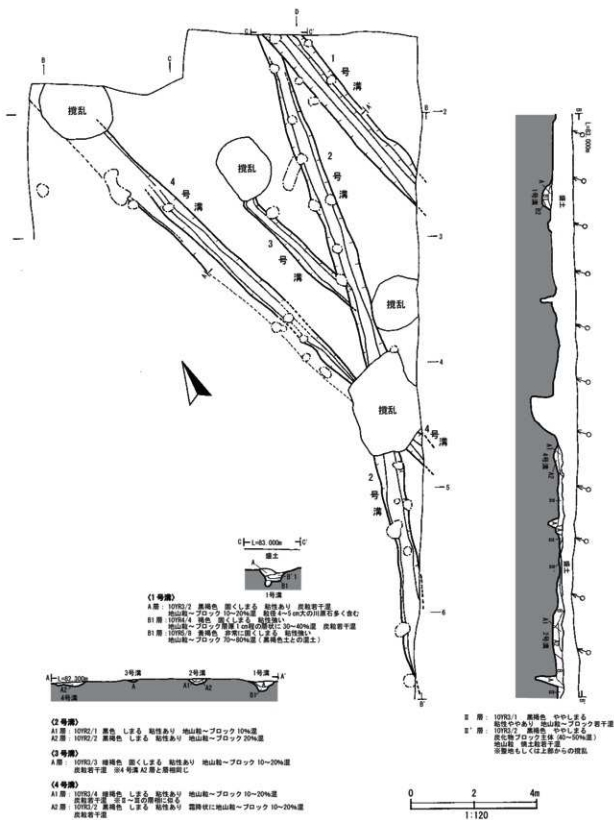
底面の形状はやや凸凹があり、1号溝と同様に地形に合わせて若干北方へ向かい傾斜している。

〔埋土・堆積状況〕調査区東壁では上下2層が観察されたA層であるが、全体的には単層となる。

炭粒を若干混入し、しまり粘性ともある暗褐色土である。前述の3号溝の埋土と層相が似ており、人為的に埋め戻された可能性がある。

〔出土遺物〕遺物は出土していない。

〔時期〕出土遺物がなく、埋土も残りが悪いため詳細は不明であるが、1号溝や3号溝と走向や埋土が近似する点、また後述するが旧奥州街道に関連した地割範囲の境界西側にほぼ一致すること（第5図参照）からみて近世以降（近代か）の遺構とみられる。



第11図 1~4号溝跡

(3) 焼土遺構

1号焼土遺構 (遺構：第13・14図・写真図版6、遺物：第15図・写真図版13)

〔位置・検出状況〕C6・D6グリッドの境界付近に位置する。Ⅲ層上面で検出したものであり、焼土内に（礫は現存しないものの）一辺3～4cm程の礫を5～6個円形に配置した痕跡が確認できるため元々は石囲炉であった可能性がある。またこの検出状況からみて、壁面は失われているが本遺構は竪穴建物跡に伴う炉跡の可能性もある。また、東側約2m隣りにも同面に2号焼土が検出されており、これも同じ建物跡に伴う遺構の可能性もある。遺構の重複関係は、焼土下に古い柱穴（p190）がありこれを切っており、さらに東側を柱穴（p202）により切られている。

〔形状・規模〕東西に広がる楕円形範囲（東西70cm・南北40cm）に広がる焼土で、層厚6cm前後の厚さで堆積しており（A'層）、下位（B'層）は旧柱穴の埋め戻し土であろう。

〔埋土・堆積状況〕A'層は、焼土ブロック主体で炭粒を若干含むしまり粘性ともある明赤褐色土である。

〔出土遺物〕焼土内からは出土していないが、本遺構を切るp202内の埋土下層より模範銭とみられる洪武通寶（中国明代1368年初鑄）1点（22）が出土している。

〔時期〕焼土内の出土遺物がないため詳細は不明であるが、切り合い状況等からみて中世に属する遺構であろう。

2号焼土遺構 (遺構：第13・14図・写真図版6)

〔位置・検出状況〕D6グリッド中央付近に位置する。Ⅲ層上面で検出したものであり、1号焼土と同様に焼土内部に円形に並べた数個の礫が抜かれた痕跡を確認した。また、本遺構も竪穴建物跡に伴う炉跡の可能性があり、西側に隣接する1号焼土とともに、同じ建物跡に伴う遺構の可能性もある。遺構の重複関係は、焼土下に切り合いを伴う古い柱穴2基（p203・p204）があり、これを切っている。

〔形状・規模〕東西45cm・南北55cmの不定形範囲に広がる焼土で、最大厚10cm程の厚さで堆積しており（A層）、下位（B層）は旧柱穴の埋め戻し土であろう。

〔埋土・堆積状況〕A層は、焼土ブロックを含み炭粒～ブロックを若干含むしまり粘性ともある明赤褐色土である。

〔出土遺物〕遺物は出土していない。

〔時期〕出土遺物がないため詳細は不明であるが、切り合い状況等からみて中世に属する遺構であろう。

3号焼土遺構 (遺構：第13・14図・写真図版6)

〔位置・検出状況〕D9グリッド東半に位置する。Ⅲ層上面で検出したもので検出状況からみて、壁面は失われているが本遺構は竪穴建物跡に伴う炉跡の可能性もある。また、東側約45cm隣りにも同面に4号焼土が検出されており、これも同じ建物跡に伴う遺構の可能性もある。遺構の重複関係はみられない。

〔形状・規模〕径40～45cmの円形範囲に広がる焼土で、深さ10cm前後の浅い掘り込み地業後に層厚3cm前後の厚さで焼土を堆積しており（A1層）、下位（A2層）は地業に係る埋戻し土であろう。

〔埋土・堆積状況〕A1層は、焼土ブロック主体で炭粒を若干含むしまり粘性ともあるいぶい赤褐色土である。

〔出土遺物〕遺物は出土していない。

〔時期〕焼土内の出土遺物がないため詳細は不明であるが、検出状況等からみて中世に属する遺構であろう。

4号焼土遺構（遺構：第13図・写真図版6）

〔位置・検出状況〕 D9グリッド東半に位置する。Ⅲ層上面で検出したもので、本遺構も堅穴建物跡に伴う刃跡の可能性があり、西側隣りの3号焼土と同じく建物跡に伴う可能性がある。遺構の重複関係はみられない。

〔形状・規模〕 東西径30cm以上、南北径50cm程の円形（推定）範囲に広がる焼土で、深さ10cm前後の皿状掘り込み地業後に層厚3～4cm前後の厚さで焼土を堆積している（B層）。

〔埋土・堆積状況〕 埋土は、調査区東壁断面の観察によればA・B層に分かれ、上層は焼土・炭粒を若干含み、下位は焼土粒～ブロック主体の赤褐色土である。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 焼土内の出土遺物がいないため詳細は不明であるが、検出状況等からみて中世に属する遺構であろう。

（4）土坑

1号土坑（遺構：第12・14図、写真図版9）

〔位置・検出状況〕 B5・B6グリッド間西寄りに位置する。Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係はみられないが、北東部で木根（攪乱）と重複している。

〔形状・規模〕 平面形は直径100cm程のややゆがむ円形であり、深さは60cm程を測る。底面はやや平坦となり、壁面はゆるく立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 埋土はA・B層に分かれ、またB層は上下2層に細分されるが、概ね自然堆積層とみられる。A層は黒色土、B層はⅢ層起源の粒子～ブロックを含むにぶい黄褐色～黒褐色土である。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がいないため、不明である。

2号土坑（遺構：第12・14図、写真図版9）

〔位置・検出状況〕 B5・B6グリッド間東寄りに位置する。Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係はみられないが、北東部で風倒木根（攪乱）と重複している。

〔形状・規模〕 平面形は東西径120cm程・南北径105cm程のややゆがむ楕円形であり、深さは50cm程を測る。底面はやや平坦となり、壁面はゆるく立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 埋土はA・B層に分かれ、またA層は上下2層に細分されるが、概ね自然堆積層とみられる。A層はⅢ層起源の粒子～ブロックを霜降り状に若干含む暗褐色～黒褐色土、B層は黒色土である。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がいないため、不明である。

3号土坑（遺構：第13・14図、写真図版9）

〔位置・検出状況〕 A7・B7グリッド間北寄りに位置する。Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係は南側でp213・p219にそれぞれ切られている。

〔形状・規模〕 平面形は東西径90cm・南北径85cm程のやや扁平な円形であり、深さは35cm程を測る。底面はやや平坦となり、壁面はゆるく立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 埋土はA・B層に分かれ、概ね自然堆積層とみられる。A層は炭粒を若干含むⅢ層起源の粒子～ブロックを霜降り状に含むにぶい黄褐色土、B層は焼土粒～ブロックを若干含む黒色土である。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がいないため不明であるが、層相より古代以前に属する可能性がある。

4号土坑（遺構：第13・14図）

〔位置・検出状況〕 A9・B9グリッド間南寄りに位置する。Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係は北西側でピットに、また東半を2号堅穴建物跡にそれぞれ切られている。

〔形状・規模〕 平面形は東西径70cm以上・南北径90cm程の円もしくは楕円形とみられ、深さは27cm程を測る。底面はやや平坦となり、壁面は中位にゆるい段をもちながらゆるやかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 埋土はA層で、さらに2層に細分されるもので、概ね自然堆積層とみられる。黒褐色～褐色土であり、下位はⅢ層起源の粒子～ブロックを多めに混入する層相となる。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がないため不明であるが、層相より古代以前に属する可能性がある。

5号土坑（遺構：第13図、写真図版9）

〔位置・検出状況〕 D9グリッド西寄りに位置する。4号堅穴建物跡踏査中にⅢ層上面で検出したものである。遺構の重複関係は、全体的に上層を4号堅穴建物跡に切られている。

〔形状・規模〕 平面形は東西径85cm・南北径100cm程の楕円形とみられ、残存する深さは40cm程を測る。断面形は船底型となり、壁面はゆるやかに立ち上がる。

〔埋土・堆積状況〕 埋土はA・B層で、うちA層はさらに2層に細分されるもので、概ね自然堆積層とみられる。A層は黒褐色土、B層はⅢ層起源の粒子～ブロック主体の褐色土となり、土坑中央底面付近のB層中には扁平な鏝（一辺12～13cm）が混入する。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がないため不明であるが、切り合い関係等からみて古代以前に属する可能性がある。

（5）柱穴状ピット群（遺構：第12・13・14図・写真図版2・9・10、遺物：第15図・写真図版13）

調査区全域にわたって、特に4ライン以南かつBライン東半以東で密集し、かつ重複した形で、多数の柱穴状ピット（計436基）を検出した。このうち、礎石を伴うものは皆無であった。規模については、直径20～60cm程の円形プランを呈し、検出面からの深さ20～70cm前後の比較的しっかりしたものが多く、中には直径16～20cm程の柱痕跡を残すものも確認されている。埋土の様子は、柱痕の見られないものはややしめる黒褐色土、一方で柱痕の残るものについては柱痕部が炭粒～ブロックを若干含む黒褐色土、根固め部は固くしまりⅢ層起源の粒子～ブロック主体の黄褐色土が主体となる。むしろ、これらの柱穴は複数個が組み合わされて掘立柱建物跡や柱列等を構成するとみられるもので、野外調査時に個別の配置の検討を行い建物跡等の把握に鋭意努めたが、調査区域及び期間上の制約や調査員の力量不足により明確には抽出できなかった。ただし、5ライン中央～東半付近や6～8ライン北半の中央～東半付近、さらに9ライン東半付近など数カ所で柱穴の集中域を見出すことができるため、そこに何らかの建物跡等が存在するとの想定は可能であろう。うち、6～8ライン付近（B6東南～C6南半～D6南半及びB8北東～C8北半～D8北半）では、それぞれ東西方向にやや規模の大きい柱穴（p184・p190・p204及びp299・p316・p314）が並ぶようであり、東西6m以上・南北6m程（東西棟か）の掘立柱建物跡となる可能性があるが、柱穴群の密集や重複により判然としない。さらに、これら柱穴の重複状況からみて、少なくとも2～3期にわたる建物等の時期変遷があるものと理解されるが、具体的な建物跡の特定等が不明確であるため推測の域を出ない。なお、前述の通り1号・2号焼土付近や3・4号焼土付近にも何らかの建物跡（東西棟の堅穴、工房跡か）が所在する可能性が高いが、周辺の柱穴配置に規則性を見出すことは出来ない。

柱穴内部からの出土遺物は、わずかに18～22が出土している。18・19は不整な地文のみられる土器片及び頁岩製の剥片でいずれも縄文時代の遺物、20は硯で縁付きの陸部片であり破損後に表面を中心に砥石として再利用されるもの、21は青磁の鎗蓮弁文碗片で、14世紀代の中国龍泉窯産とみられるもの、22は1号焼土遺構で述べたが模鈔銭とみられる洪武通寶であり、21・22は中世～近世初頭に属する遺物である。柱穴群の時期は、出土遺物が希少であるため詳細は不明であるが、中世の竪穴建物跡と重複箇所が殆どない点や21・22のように中世の遺物を出土している点からみて、多くは中世に属する遺構であるが、一方では北半を通る奥州街道の近在地でもあるために、この中の一部には近世に属する柱穴を含む可能性もある。

(6) 小溝跡 (遺構：第13図、写真図版8)

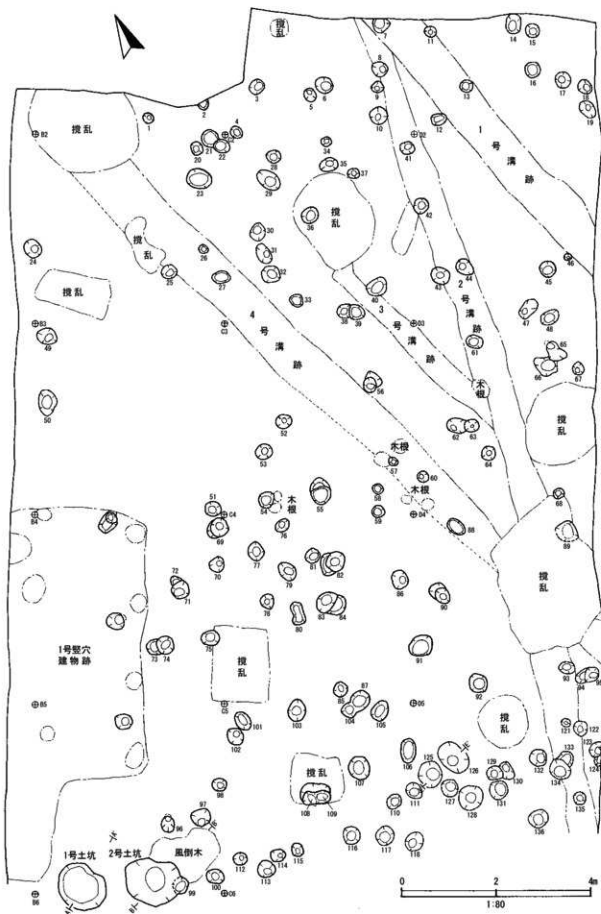
〔位置・検出状況〕 D9グリッド北半に位置し、Ⅲ層上面で検出したものである。遺構の重複関係は、西側一部を4号竪穴建物跡に切られ、またp384と重複している。

〔形状・規模〕 東西方向に直線もしくはやや弧状に伸びる溝跡で、東側は調査区外へ伸びており、長さ3.5mにわたり確認されたものである。断面はやや壁が立つもので、底面はほぼ平坦となる。規模は、上面幅20～25cm程また底面幅4cm前後であり、検出(Ⅲ層上)面からの深さは15～20cm程である。

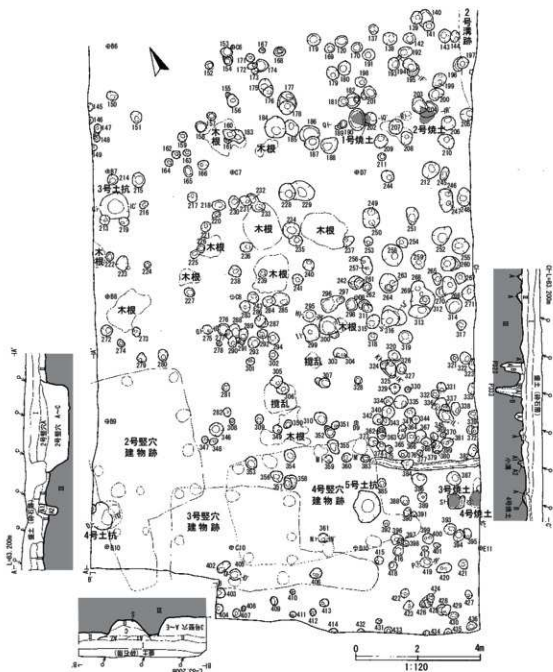
〔埋土・堆積状況〕 A1層は板状の痕跡で、やや北傾気味に堆積しており、炭粒を若干混入する黒褐色土で、A2層は根固め土とみられる。

〔出土遺物〕 遺物は出土していない。

〔時期〕 出土遺物がなく詳細は不明であるが、1号竪穴建物跡及び3号竪穴建物跡と軸方向が近似する点からみて中世の遺構とみられる。



第12図 柱穴・ピット群 (1) (調査区北半)



(A-A)

- 1層: 10194/4 褐色 しまる 地山粒~ブロック 20~30%混 炭粒~ブロック若干混 赤褐色土
 2層: 10192/1 黄褐色 ややしまる 粘性中やあり 地山粒~ブロック若干混
 3層: 10195/8 黄褐色 ややしまる 粘性強い 赤褐色土
 A1層: 10194/4 褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック 10~20%混
 A2層: 10192/3 緑褐色 ややしまる 粘性中やあり 地山粒~ブロックを機材に 20%混
 A'層: 10192/3 緑褐色 しまる 粘性強い
 地山粒~ブロック (10197/4 に近い黄褐色) を機材に 60~70%混 ※壁穴埋戻土の最上層

(B-B)

- 2層: 10195/4 に近い黄褐色 しまる 粘性強い
 地山粒~ブロック (10197/4 に近い黄褐色) を機材に 60~70%混
 炭粒~ブロック若干混 ※3号壁穴埋戻土の最上層

(C-C)

- (a327)
 A層: 10194/3 に近い黄褐色 固くしまる 粘性あり 地山粒~ブロック 10%混
 炭粒若干混
 B層: 10194/1 黄褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック 20%混
 炭粒~ブロック若干混 ※径 18cmの柱礎 下部より厚層粘土混赤土
 10195/6 黄褐色 固くしまる 粘性あり 地山粒~ブロック 40%混
 炭粒若干混

(a332)

- 2層: 10194/3 に近い黄褐色 固くしまる 粘性強い 地山粒~ブロック 10~20%混
 炭粒若干混 ※赤地層か
 A層: 10192/2 黄褐色 中硬 18~20cmの柱礎 炭粒若干混 ややしまる 粘性中やあり
 地山粒~ブロック 20%混
 B層: 10192/4 緑褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック 20%混

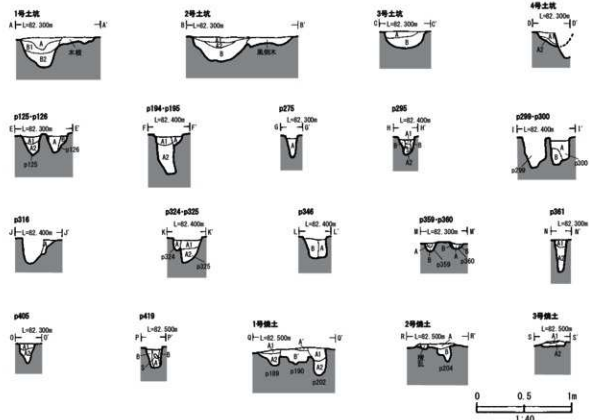
(小溝)

- A1層: 10192/3 緑褐色 しまる 粘性あり 炭粒若干混 地山粒~ブロック 10~20%混
 ※幅 4~5cm 深 15~20cmの直線溝
 A2層: 10192/2 黄褐色 しまる 粘性あり 地山粒~ブロック 20%混

(4号壁穴)

- A層: 10192/1 黄褐色 しまる 粘性あり 地山粒 楕土粒 炭粒若干混
 B層: 7 S194/6 黄褐色 しまる 粘性あり 楕土粒~ブロック主体 (70~80%混)
 地山粒若干混

第13図 柱穴・ピット群 (2) (調査区南半)



<p>1号土坑</p> <p>A層: 10192/1 黒色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック寄干道</p> <p>B層: 10194/3 にごい黄褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック寄干道 (40%) 道</p> <p>C層: 10192/2 黒褐色 しまる 粘性強い 地山層→ブロック下抜中心に20%道</p>	<p>2号土坑</p> <p>A1層: 10192/2 黒褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック寄干道に30~50%道</p> <p>A2層: 10192/2 黒褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック寄干道に10~20%道</p> <p>B層: 10192/1 黒色 やしまる 粘性強い 下抜中心に地山層→ブロック寄干道に20%道</p>	<p>3号土坑</p> <p>A層: 10194/2 にごい黄褐色 しまる 粘性やあり 地山層→ブロック 寄干道に30~40%道 炭酸岩干道</p> <p>B層: 10191/1 黒色 しまる 粘性あり 粘性やあり 中抜に地山層→ ブロック 10~20%道 焼土層→ブロック寄干道</p>	<p>4号土坑</p> <p>A1層: 10192/1 黒褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック寄干道</p> <p>A2層: 10194/4 褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック寄干道 (30~40%) 道 炭酸岩干道に下抜中心に</p>	
<p>p125-p126</p> <p>A層: 10192/2 黒褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック寄干道</p>	<p>p194-p195</p> <p>A1層: 10192/2 黒褐色 しまる 粘性やあり 地山層→ブロック 20~30%道</p> <p>A2層: 10192/2 黒褐色 しまる 粘性やあり 地山層→ブロック 20~30%道</p>	<p>p275</p> <p>A層: 10192/1 黒褐色 しまり強い 粘性やあり 地山層→ブロック 10~20%道</p>	<p>p295</p> <p>A層: 10194/2 反黄褐色 固くしまる 粘性やあり 地山層→ブロック主体 (40~50%道) 炭酸岩干道</p> <p>A2層: 10192/2 黄褐色 しまる 粘性やあり 中抜に5cm程の中継 1層あり 地山層→ブロック寄干道</p> <p>B層: 10192/4 にごい黄褐色 堅くしまる 粘性あり 地山層→ブロック主体 (40~50%道)</p>	<p>p299-p300</p> <p>A層: 10194/2 にごい黄褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック寄干道</p> <p>B層: 10192/1 黒色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック 20%道</p>
<p>p316</p> <p>A層: 10194/4 褐色 しまる 粘性強い</p>	<p>p324-p325</p> <p>A層: 10192/1 黒色 やしまる 粘性やあり 地山層→ブロック 10%道</p> <p>A1層: 10192/2 黒褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック 構状に30%道</p> <p>A2層: 10192/2 黒褐色 しまる 粘性やあり 地山層→ブロック 20~30%道</p>	<p>p346</p> <p>A層: 10192/2 黒褐色 しまる 粘性やあり 地山層→ブロック 20%道</p> <p>B層: 10194/4 褐色 しまる 粘性やあり 地山層→ブロック 40%道</p>	<p>p359-p360</p> <p>A層: 10192/2 黒褐色 やしまる 粘性やあり 地山層→ブロック 20%道</p> <p>B層: 10194/4 褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック主体 (50%道)</p>	<p>p361</p> <p>A1層: 10194/3 にごい黄褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック 40~50%道 (炭酸岩干道の土)</p> <p>B層: 10192/1 黒色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック 20%道</p>
<p>p405</p> <p>A層: 10194/2 反黄褐色 堅くしまる 粘性あり 地山層→ブロック 30~40%道</p> <p>A2層: 10192/1 黒褐色 しまる 粘性やあり 地山層→ブロックを 30~40%道</p>	<p>p419</p> <p>A層: 10194/2 反黄褐色 堅くしまる 粘性やあり 地山層→ブロック 30%道 炭酸岩干道</p> <p>B層: 10194/6 暗黄褐色 しまる 粘性やあり 地山層→ブロック主体 (70~80%道)</p>	<p>1号焼土</p> <p>A層: 2.10192/2 暗褐色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック 20~30%道</p> <p>B層: 10191/1 黒色 しまる 粘性あり 地山層→ブロック寄干道 炭酸岩干道</p> <p>A2層: 10192/1 黒色 やしまる 粘性強い 地山層→ブロック寄干道</p>	<p>2号焼土</p> <p>A層: 2.10192/2 暗褐色 堅くしまる 粘性やあり 地山層→ブロック 30~40%道</p> <p>B層: 10192/1 黒褐色 しまる 粘性やあり 地山層→ブロック 20~30%道</p>	<p>3号焼土</p> <p>A1層: 2.10194/4 にごい黄褐色 堅くしまる 粘性あり 地山層→ブロック 60~70%道</p> <p>A2層: 10194/2 にごい黄褐色 しまる 粘性やあり 地山層→ブロック 30%道 炭酸岩干道</p>

第14図 土坑・柱穴・ピット・焼土断面

ピットNo.	グリッド	開口幅径 (cm)	深さ (cm)	底面積 (m ²)
ピット1	B1	22 × 20	44.0	81.638
ピット2	B1	120 × 20	36.0	81.617
ピット3	C1	34 × 30	40.0	81.810
ピット4	C1	26 × 24	22.0	81.932
ピット5	C1	26 × 24	22.0	81.949
ピット6	C1	36 × 31	42.0	81.789
ピット7	C1	136 × 30	47.0	81.492
ピット8	C1	27 × 21	23.0	81.445
ピット9	C1	27 × 21	23.0	81.984
ピット10	C1	37 × 36	83.0	81.388
ピット11	D1	37 × 36	83.0	81.381
ピット12	D1	45 × 22	31.0	82.059
ピット13	D1	26 × 27	25.0	81.816
ピット14	D1	43 × 39	54.0	81.074
ピット15	D1	26 × 27	25.0	81.864
ピット16	D1	34 × 39	65.0	81.565
ピット17	D1	34 × 39	61.0	81.611
ピット18	D1	32 × 30	27.0	81.986
ピット19	D1	36 × 31	50.0	81.742
ピット20	B2	27 × 23	18.0	81.953
ピット21	B2	36 × 30	16.0	82.000
ピット22	B2	33 × 27	23.0	81.945
ピット23	B2	54 × 45	53.0	81.004
ピット24	B2	40 × 36	23.0	81.732
ピット25	B2	32 × 31	27.0	81.816
ピット26	B2	18 × 17	18.0	81.894
ピット27	B2	47 × 23	28.0	81.746
ピット28	B2	31 × 26	23.0	81.964
ピット29	C2	54 × 34	48.0	81.727
ピット30	C2	38 × 34	59.0	81.588
ピット31	C2	44 × 30	44.0	81.744
ピット32	C2	39 × 34	38.0	81.815
ピット33	C2	26 × 24	18.0	82.039
ピット34	C2	21 × 20	16.0	81.727
ピット35	C2	40 × 37	40.0	81.859
ピット36	C2	35 × 34	29.0	81.840
ピット37	C2	35 × 30	23.0	81.833
ピット38	C2	28 × 25	15.0	82.009
ピット39	C2	35 × 34	38.0	81.850
ピット40	C2	44 × 36	19.0	81.836
ピット41	C2	30 × 28	30.0	81.815
ピット42	C2	36 × 34	48.0	81.629
ピット43	C2	40 × 37	35.0	81.717
ピット44	D2	36 × 30	67.0	81.575
ピット45	D2	35 × 34	30.0	81.836
ピット46	D2	15 × 14	28.0	81.871
ピット47	D2	47 × 27	33.0	81.866
ピット48	D2	41 × 27	41.0	81.785
ピット49	B3	44 × 34	33.0	81.607
ピット50	B3	60 × 40	24.0	81.782
ピット51	B3	33 × 29	61.0	81.489
ピット52	C3	45 × 30	35.0	81.806
ピット53	C3	36 × 31	31.0	81.856
ピット54	C3	38 × 30	34.0	81.784
ピット55	C3	55 × 44	71.0	81.415
ピット56	C3	47 × 43	37.0	81.850
ピット57	C3	20 × 17	23.0	81.713
ピット58	C3	27 × 25	29.0	81.737
ピット59	C3	27 × 25	31.0	81.758
ピット60	D3	44 × 30	43.0	81.697
ピット61	D3	32 × 30	42.0	81.671
ピット62	D3	45 × 35	29.0	82.130
ピット63	D3	45 × 35	61.0	81.763
ピット64	D3	32 × 31	23.0	81.988
ピット65	D3	50 × 26	34.0	81.851
ピット66	D3	35 × 40	15.0	81.886
ピット67	D3	25 × 20	18.0	82.007
ピット68	D3	24 × 20	44.0	81.762
ピット69	D4	41 × 40	36.0	81.780
ピット70	B4	35 × 34	37.0	81.739
ピット71	B4	38 × 37	31.0	81.746
ピット72	B4	24 × 15	20.0	81.850
ピット73	B4	34 × 42	15.0	81.819
ピット74	B4	40 × 39	58.0	81.436
ピット75	B4	40 × 34	78.0	81.296
ピット76	C4	33 × 23	19.0	81.961
ピット77	C4	40 × 34	25.0	81.889
ピット78	C4	30 × 29	58.0	81.569
ピット79	C4	43 × 30	15.0	81.967
ピット80	C4	50 × 47	41.0	81.679
ピット81	C4	31 × 30	38.0	81.722
ピット82	C4	60 × 50	24.0	81.681
ピット83	C4	50 × 34	71.0	81.387
ピット84	C4	45 × 25	43.0	81.638
ピット85	C4	32 × 30	23.0	81.818
ピット86	C4	44 × 36	67.0	81.563
ピット87	C4	44 × 36	67.0	81.509
ピット88	D4	40 × 36	18.0	81.962
ピット89	D4	150 × 28	46.0	81.616
ピット90	D4	46 × 30	46.0	81.750
ピット91	D4	54 × 47	23.0	82.074
ピット92	D4	42 × 40	41.0	81.817
ピット93	D4	35 × 24	58.0	81.635
ピット94	D4	30 × 20	13.0	82.101
ピット95	D4	36 × 30	40.0	81.886
ピット96	B5	40 × 27	57.0	81.452
ピット97	B5	43 × 40	77.0	81.288
ピット98	B5	36 × 26	26.0	81.931
ピット99	B5	30 × 25	24.0	81.732
ピット100	B5	37 × 30	69.0	81.345
ピット101	B5	44 × 30	81.0	81.585
ピット102	C5	37 × 36	34.0	81.741
ピット103	C5	47 × 36	35.0	81.739
ピット104	C5	46 × 36	64.0	81.610
ピット105	C5	34 × 30	12.0	82.080
ピット106	C5	52 × 32	23.0	81.964
ピット107	C5	53 × 45	29.0	81.896
ピット108	C5	53 × 33	34.0	81.862
ピット109	C5	43 × 30	30.0	81.650
ピット110	C5	33 × 26	72.0	81.433
ピット111	C5	46 × 30	41.0	81.745
ピット112	C5	29 × 26	28.0	81.763
ピット113	C5	38 × 35	62.0	82.009
ピット114	C5	29 × 26	41.0	81.644
ピット115	C5	37 × 30	37.0	81.694
ピット116	C5	38 × 37	60.0	81.550

ピットNo.	グリッド	開口幅径 (cm)	深さ (cm)	底面積 (m ²)
ピット117	C5	40 × 38	57.0	81.605
ピット118	C5	43 × 36	53.0	81.536
ピット119	C5	43 × 40	50.0	81.628
ピット120	C5	40 × 38	39.0	81.783
ピット121	C5	19 × 16	19.0	81.818
ピット122	C5	33 × 30	41.0	81.829
ピット123	C5	(35 × 25)	26.0	81.980
ピット124	D5	(20 × 13)	20.0	81.980
ピット125	D5	67 × 51	45.0	81.757
ピット126	D5	74 × 50	42.0	81.799
ピット127	D5	64 × 50	53.0	81.811
ピット128	D5	54 × 50	53.0	81.717
ピット129	D5	39 × 31	43.0	81.813
ピット130	D5	40 × 37	23.0	81.993
ピット131	D5	39 × 28	39.0	81.834
ピット132	D5	36 × 35	23.0	81.962
ピット133	D5	41 × 28	41.0	81.750
ピット134	C6	50 × 28	57.0	81.664
ピット135	C6	26 × 26	28.0	81.831
ピット136	D6	40 × 38	69.0	81.555
ピット137	D6	32 × 26	29.0	81.827
ピット138	D6	44 × 42	21.0	82.036
ピット139	D6	44 × 39	58.0	81.704
ピット140	D6	65 × 47	24.0	81.760
ピット141	D6	46 × 30	70.0	81.564
ピット142	D6	38 × 35	21.0	82.057
ピット143	D6	45 × 40	30.0	81.967
ピット144	D6	42 × 39	31.0	81.930
ピット145	A6	(25 × 15)	25.0	81.809
ピット146	A6	(24 × 12)	25.0	81.827
ピット147	A6	30 × 26	39.0	81.666
ピット148	A6	24 × 20	26.0	81.797
ピット149	A6	(18 × 17)	23.0	81.836
ピット150	B6	35 × 26	26.0	81.758
ピット151	B6	41 × 37	32.0	81.758
ピット152	B6	29 × 25	40.0	81.866
ピット153	B6	31 × 24	31.0	81.770
ピット154	B6	27 × 26	44.0	81.660
ピット155	B6	23 × 12	15.0	81.916
ピット156	B6	43 × 36	48.0	81.636
ピット157	B6	37 × 36	37.0	81.728
ピット158	B6	30 × 30	29.0	81.786
ピット159	B6	32 × 30	31.0	81.848
ピット160	B6	26 × 21	51.0	81.618
ピット161	B6	26 × 21	51.0	81.618
ピット162	B6	30 × 25	13.0	81.929
ピット163	B6	24 × 22	13.0	81.925
ピット164	B6	28 × 26	17.0	81.900
ピット165	B6	40 × 26	12.0	81.951
ピット166	B6	35 × 26	21.0	81.804
ピット167	C6	20 × 15	26.0	81.787
ピット168	C6	40 × 30	49.0	81.776
ピット169	C6	20 × 15	26.0	81.959
ピット170	C6	40 × 30	26.0	81.818
ピット171	C6	30 × 25	20.0	81.826
ピット172	C6	35 × 26	25.0	82.064
ピット173	C6	35 × 26	25.0	81.849
ピット174	C6	42 × 40	28.0	81.808
ピット175	C6	42 × 34	36.0	81.763
ピット176	C6	42 × 34	36.0	81.763
ピット177	C6	47 × 26	46.0	81.689
ピット178	C6	50 × 43	50.0	81.648
ピット179	C6	44 × 36	50.0	81.648
ピット180	C6	45 × 41	38.0	81.842
ピット181	C6	36 × 30	25.0	81.948
ピット182	C6	50 × 48	44.0	81.869
ピット183	C6	44 × 30	27.0	81.857
ピット184	C6	70 × 69	48.0	81.659
ピット185	C6	54 × 46	48.0	81.778
ピット186	C6	65 × 56	16.0	82.013
ピット187	C6	50 × 40	55.0	81.827
ピット188	C6	62 × 56	48.0	81.775
ピット189	C6	59 × 27	40.0	81.802
ピット190	C6	73 × 50	27.0	81.970
ピット191	D6	40 × 37	48.0	81.735
ピット192	D6	40 × 37	41.0	81.846
ピット193	D6	42 × 35	67.0	81.581
ピット194	D6	50 × 35	82.0	81.439
ピット195	D6	45 × 41	28.0	81.869
ピット196	D6	48 × 35	26.0	82.018
ピット197	D6	40 × 39	62.0	81.630
ピット198	D6	38 × 33	84.0	81.387
ピット199	D6	47 × 37	52.0	81.724
ピット200	D6	50 × 40	33.0	81.925
ピット201	D6	45 × 37	65.0	81.627
ピット202	D6	45 × 33	65.0	81.627
ピット203	D6	33 × 48	44.0	81.782
ピット204	D6	54 × 48	18.0	82.050
ピット205	D6	(43 × 42)	61.0	81.559
ピット206	D6	47 × 46	60.0	81.656
ピット207	D6	67 × 40	110.0	81.169
ピット208	D6	45 × 27	64.0	81.680
ピット209	D6	43 × 40	82.0	81.632
ピット210	D6	51 × 46	66.0	81.609
ピット211	D6	25 × 23	62.0	81.620
ピット212	D6	59 × 51	55.0	81.709
ピット213	B7	34 × 33	31.0	81.815
ピット214	B7	34 × 33	31.0	81.815
ピット215	B7	46 × 40	24.0	81.964
ピット216	B7	27 × 25	11.0	82.011
ピット217	B7	34 × 33	31.0	81.961
ピット218	B7	43 × 32	46.0	81.713
ピット219	B7	34 × 27	43.0	81.700
ピット220	B7	33 × 20	20.0	81.973
ピット221	B7	33 × 20	20.0	81.973
ピット222	B7	30 × 27	10.0	82.028
ピット223	B7	49 × 46	55.0	81.385
ピット224	B7	24 × 26	25.0	82.034
ピット225	B7	33 × 29	20.0	81.930
ピット226	B7	30 × 29	31.0	81.821
ピット227	B7	34 × 31	26.0	81.910
ピット228	B7	62 × 56	40.0	81.791
ピット229	C7	60 × 60	42.0	81.815
ピット230	C7	46 × 36	42.0	81.967
ピット231	C7	46 × 36	42.0	81.967
ピット232	C7	36 × 35	42.0	81.726

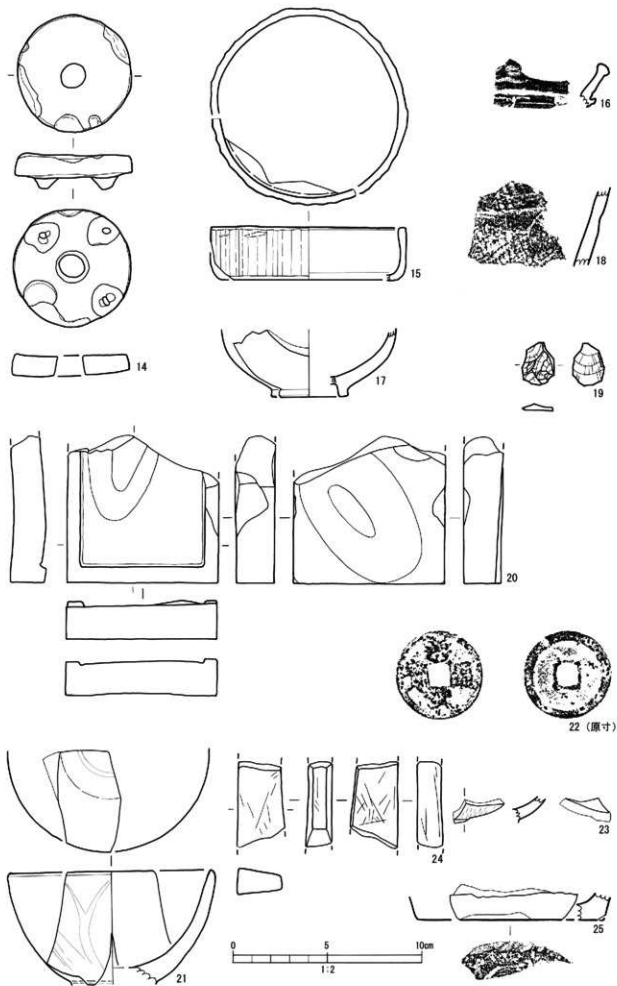
表1 土坑・柱穴計測表(1)

ピットNo.	グリッド	開口幅径 (cm)	深さ (cm)	底面積 (m ²)
C-233	C7	40×30	45.0	81.722
C-234	C7	54×30	41.0	81.671
C-235	C7	47×30	35.0	81.501
C-236	C7	42×32	47.0	81.705
C-237	C7	46×31	36.0	81.531
C-238	C7	43×42	48.0	81.695
C-239	C7	32×24	10.0	81.640
C-240	C7	37×30	43.0	81.719
C-241	C7	36×34	51.0	81.509
C-242	C7	44×43	29.0	81.935
C-243	C7	41×36	41.0	81.781
C-244	D7	43×38	51.0	81.731
C-245	D7	45×25	29.0	81.962
C-246	D7	48×34	81.0	81.774
C-247	D7	74×43	74.0	81.666
C-248	D7	(58×43)	58.0	81.707
C-249	D7	50×30	64.0	81.618
C-250	D7	55×35	55.0	81.367
C-251	D7	57×39	25.0	81.989
C-252	D7	71×54	42.0	81.983
C-253	D7	57×31	28.0	81.666
C-254	D7	37×32	54.0	81.724
C-255	D7	56×49	60.0	81.692
C-256	D7	32×30	38.0	81.679
C-257	D7	34×33	39.0	81.964
C-258	D7	74×66	81.0	81.456
C-259	D7	60×50	42.0	81.848
C-260	D7	65×47	32.0	81.811
C-261	D7	40×30	61.0	81.619
C-262	D7	28×24	17.0	82.048
C-263	D7	49×30	49.0	81.781
C-264	D7	50×26	67.0	81.589
C-265	D7	39×26	30.0	81.969
C-266	D7	57×44	50.0	81.711
C-267	D7	39×36	61.0	81.684
C-268	D7	50×40	49.0	81.895
C-269	D7	45×26	35.0	81.749
C-270	D7	30×20	17.0	82.121
C-271	D7	50×45	39.0	81.896
C-272	B8	19×19	19.0	81.618
C-273	B8	34×26	64.0	81.476
C-274	B8	26×20	15.0	81.996
C-275	B8	35×30	37.0	81.646
C-276	B8	40×34	45.0	81.666
C-277	B8	26×25	72.0	81.597
C-278	B8	19×15	10.0	82.062
C-279	B8	20×20	21.0	81.691
C-280	B8	36×30	43.0	81.642
C-281	B8	36×24	25.0	81.678
C-282	B8	30×26	36.0	81.770
C-283	C8	40×34	22.0	81.966
C-284	C8	36×35	41.0	81.665
C-285	C8	45×46	36.0	81.655
C-286	C8	36×33	51.0	81.692
C-287	C8	35×10	16.0	81.989
C-288	C8	45×26	26.0	81.667
C-289	C8	40×30	10.0	81.683
C-290	C8	39×27	41.0	81.701
C-291	C8	26×20	27.0	81.855
C-292	C8	30×37	26.0	81.889
C-293	C8	36×36	46.0	81.676
C-294	C8	40×37	54.0	81.561
C-295	C8	46×40	42.0	81.683
C-296	C8	55×45	43.0	81.785
C-297	C8	40×25	33.0	81.888
C-298	C8	46×37	15.0	81.765
C-299	C8	57×66	66.0	81.556
C-300	C8	58×57	57.0	81.645
C-301	C8	29×10	29.0	81.810
C-302	C8	32×26	31.0	81.816
C-303	C8	30×29	26.0	81.931
C-304	C8	30×23	63.0	81.964
C-305	C8	42×40	63.0	81.694
C-306	C8	40×39	56.0	81.597
C-307	C8	40×30	70.0	81.800
C-308	C8	20×16	26.0	81.888
C-309	C8	30×27	21.0	81.959
C-310	C8	44×36	81.0	81.311
C-311	D8	50×40	52.0	81.711
C-312	D8	35×29	49.0	81.799
C-313	D8	72×46	60.0	81.695
C-314	D8	54×49	26.0	81.735
C-315	D8	50×40	26.0	81.936
C-316	D8	60×58	15.0	81.741
C-317	D8	30×30	12.0	81.857
C-318	D8	30×25	44.0	81.806
C-319	D8	45×42	34.0	81.941
C-320	D8	43×33	51.0	81.776
C-321	D8	36×26	18.0	82.119
C-322	D8	40×37	64.0	81.660
C-323	D8	40×20	60.0	81.699
C-324	D8	46×46	40.0	81.693
C-325	D8	49×37	57.0	81.724
C-326	D8	27×25	65.0	81.631
C-327	D8	36×36	36.0	81.768
C-328	D8	25×23	23.0	82.022
C-329	D8	37×34	24.0	81.873
C-330	D8	18×17	15.0	81.738
C-331	D8	35×30	41.0	81.900
C-332	D8	26×12	12.0	82.170
C-333	D8	26×21	76.0	81.808
C-334	D8	28×26	18.0	82.092
C-335	D8	45×42	92.0	81.570
C-336	D8	42×27	48.0	81.804
C-337	D8	26×18	66.0	81.824
C-338	D8	42×30	27.0	82.023
C-339	D8	(28×23)	44.0	81.848
C-340	D8	44×40	62.0	81.664
C-341	D8	37×32	44.0	81.852
C-342	D8	35×30	40.0	81.673
C-343	D8	32×26	26.0	81.924
C-344	D8	30×27	32.0	81.969
C-345	D8	52×44	50.0	81.778
C-346	D8	46×45	28.0	81.787
C-347	B9	45×20	19.0	81.686
C-348	B9	29×19	20.0	81.673

ピットNo.	グリッド	開口幅径 (cm)	深さ (cm)	底面積 (m ²)
C-349	C9	32×27	53.0	81.630
C-350	C9	31×21	61.0	81.721
C-351	C9	34×25	49.0	81.728
C-352	C9	42×32	36.0	81.890
C-353	C9	40×31	35.0	81.810
C-354	C9	41×35	21.0	81.686
C-355	C9	50×39	30.0	81.933
C-356	C9	36×25	26.0	81.796
C-357	C9	35×25	29.0	81.764
C-358	C9	46×45	15.0	81.910
C-359	C9	34×30	32.0	81.862
C-360	C9	31×30	18.0	81.992
C-361	C9	31×30	70.0	81.992
C-362	C9	22×15	18.0	82.091
C-363	C9	28×21	66.0	81.625
C-364	C9	27×26	53.0	81.759
C-365	C9	26×25	20.0	81.896
C-366	C9	31×36	26.0	81.886
C-367	D9	40×37	55.0	81.763
C-368	D9	32×28	63.0	81.765
C-369	D9	48×26	48.0	81.893
C-370	D9	21×18	15.0	82.126
C-371	D9	29×27	34.0	81.961
C-372	D9	(26×23)	42.0	81.927
C-373	D9	33×30	18.0	82.078
C-374	D9	30×29	52.0	81.780
C-375	D9	29×26	18.0	82.155
C-376	D9	27×29	26.0	82.063
C-377	D9	29×28	24.0	82.069
C-378	D9	18×12	16.0	82.118
C-379	D9	38×36	18.0	81.850
C-380	D9	19×9	21.0	82.285
C-381	D9	38×30	44.0	81.896
C-382	D9	42×31	18.0	81.810
C-383	D9	29×22	13.0	81.960
C-384	D9	41×33	33.0	81.969
C-385	D9	37×24	33.0	82.065
C-386	D9	47×42	47.0	81.832
C-387	D9	47×45	70.0	81.951
C-388	D9	32×27	40.0	82.150
C-389	D9	36×29	19.0	82.106
C-390	D9	29×24	42.0	81.826
C-391	D9	19×13	14.0	82.160
C-392	D9	20×19	14.0	82.060
C-393	D9	38×36	39.0	81.996
C-394	D9	40×36	46.0	81.836
C-395	D9	46×36	46.0	81.866
C-396	D9	43×40	56.0	81.686
C-397	D9	18×16	80.0	81.900
C-398	D9	19×16	80.0	81.900
C-399	D9	37×35	40.0	81.903
C-400	D9	37×36	45.0	81.999
C-401	D9	23×18	11.0	82.211
C-402	B10	47×26	47.0	81.822
C-403	B10	(28×24)	30.0	81.917
C-404	B10	(28×23)	74.0	81.685
C-405	B10	39×18	14.0	82.076
C-406	C10	40×34	77.0	81.975
C-407	C10	29×26	77.0	81.924
C-408	C10	18×17	10.0	82.154
C-409	C10	31×21	16.0	82.068
C-410	C10	17×16	10.0	82.047
C-411	C10	20×19	13.0	82.047
C-412	C10	24×23	14.0	82.018
C-413	C10	27×24	10.0	82.039
C-414	C10	(27×18)	14.0	82.099
C-415	C10	28×27	17.0	82.096
C-416	D10	38×32	38.0	81.915
C-417	D10	21×16	7.0	82.245
C-418	D10	28×27	17.0	82.120
C-419	D10	38×34	44.0	81.949
C-420	D10	50×34	31.0	82.073
C-421	D10	38×29	31.0	82.062
C-422	D10	30×26	16.0	82.112
C-423	D10	32×30	20.0	82.065
C-424	D10	36×30	30.0	81.979
C-425	D10	30×29	22.0	82.055
C-426	D10	29×23	15.0	82.123
C-427	D10	29×24	68.0	82.114
C-428	D10	47×25	11.0	82.156
C-429	D10	35×24	24.0	82.016
C-430	D10	32×24	15.0	82.203
C-431	D10	22×17	14.0	82.026
C-432	D10	(22×11)	4.0	82.169
C-433	D10	(29×38)	14.0	82.068
C-434	D10	(29×19)	20.0	82.047
C-435	D10	(25×19)	13.0	82.176
C-436	D10	35×30	22.0	82.055

土坑No.	グリッド	開口幅径 (cm)	深さ (cm)	底面積 (m ²)
28土坑	B5	108×66	64.0	81.740
29土坑	B5	105×103	53.0	81.512
39土坑	B7	100×94	36.0	82.583
49土坑	B9	63×70	34.0	82.264
59土坑	D9	102×83	58.0	80.929

表1 土坑・柱穴計測表(2)



第15図 溝跡・柱穴・ピット内及び遺構外出土遺物

■土器

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	種類	器種	部位	計測値			器面調整等			備考	
								口径(mm)	底径(mm)	器高(mm)	外面	内面	底部裏		
10	2	001	1号壁穴建物	南平	A2層	土器器	坏	体	—	—	(30)	ヘラナデ	ヘラナデ	—	ロクロ使用
10	3	002	1号壁穴建物	南平	A2層	土器器	坏	体	—	—	(23)	ヘラナデ	ヘラナデ	—	ロクロ使用
10	4	003	1号壁穴建物	北平	C層	土器器	壺	胴	—	—	(31)	ハケメ	ナデ	—	
10	5	004	1号壁穴建物	北平	埋土	土器器	壺	胴	—	—	(22)	ハケメ	—	—	
10	6	009	1号壁穴建物	南平	A2層	縄文土器	深鉢	口縁	—	—	(20)	—	—	—	
10	7	008	1号壁穴建物	南平	A2層	縄文土器	深鉢	底	—	(40)	(12)	—	—	—	
10	9	006	2号壁穴建物	北西区	B層	須恵器	大甕	底?	—	—	(42)	—	—	—	外面・平行タタキ
10	11	007	2号壁穴建物	北東部	A1層	須恵器	大甕	胴	—	—	(32)	—	—	—	外面・平行タタキ
10	12	005	3号壁穴建物	北東区(ヘルト東側)	検出面	須恵器	甕	胴~底	—	—	(55)	—	—	—	
10	13	010	4号壁穴建物	南東隅	床面	縄文土器	深鉢	胴	—	—	(43)	—	—	—	LR積
15	16	011	2号溝	D5付近	上層	縄文土器	鉢	口縁	—	—	(23)	—	—	—	発生?
15	18	012	p80	—	上層	縄文土器	深鉢	胴	—	—	(43)	—	—	—	地文(不整)
15	25	013	C2	東平覆土	検出面	縄文土器	深鉢	底	—	(106)	(19)	—	—	—	

■土製品

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	種類	計測値				備考	
						長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)		
15	14	201	1号溝	—	埋土	銅付き焼き台	19	62	19	62.7	家道具

■石器

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	種類	計測値				石材	産地	分類	備考	
						長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)					
10	10	301	2号壁穴建物	南東部	検出面	石錐	43	11	5	2.1	—	—	—	棒状
15	19	302	p32	—	中位	剥片	22	16	3	1.3	頁岩	—	—	

■石製品

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	種類	計測値				石材	産地	分類	備考	
						長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)					
15	20	401	p128	—	埋土	礎	(70)	80	21	154.4	—	—	—	礎部片
15	24	403	D8	P320-P326間	直層上	緑石	(45)	(25)	(14)	22.4	—	—	—	

■陶磁器

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	器種	部位	部位	産地	計測値			器面調整等			備考	
									口径(mm)	底径(mm)	器高(mm)	外面	内面	底部裏		
10	1	501	1号壁穴建物	南平	A2層	陶器	壺	胴	常滑?	—	—	(40)	—	—	—	中世
10	8	502	2号壁穴建物	南東区東塚台	B2層	陶器	鉢?	口縁	—	—	(25)	—	—	—	—	瓦質
15	15	506	1号溝	南平	埋土	磁器	皿?	口縁	不明	(104)	(94)	28	—	—	—	近代以降
15	17	503	D3	覆土南平	下層	磁器	碗	体~底	大塚相馬	—	(40)	(36)	—	—	—	18C
15	21	504	p323	東端調査区境	下層	青磁	碗	口縁~底	中国	(110)	(44)	(62)	—	—	—	14C
15	23	505	D3	1号溝-2号溝間	—	磁器	碗(湯呑)	体	不明	—	—	(12)	—	—	—	近代以降・精 進弁文

■金属製品

掲載番号 図 番号	登録番号	遺構名	出土地点	出土層位	種類	計測値				備考	
						長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重さ(g)		
15	22	601	p202	北壁	下層	洪武溝寶	20	20	2	2.2	

表2 出土遺物観察表

V. まとめ

〔中世の遺構・遺物〕今回、上館遺跡では初となる中世に属する堅穴建物跡が4棟、一部重複しながら検出されたこと、また多数検出された柱穴群の一部の埋土中より中世の遺物が出土したことから、周辺一帯が中世城館・上館として利用されていたことが明確になった。この柱穴群は数棟の掘立柱建物跡を構成すると推定されるものであり、調査区東側には建物群（掘立柱建物跡）、一方調査区西側～南側にかけては倉庫群（堅穴建物跡）というように場所によって土地利用に違いが認められる。これは、昭和47年に東北縦貫自動車道関連で発掘調査された古館遺跡（現：古館Ⅲ遺跡）他の掘立柱建物跡と堅穴建物跡の配置状況を例にとれば、館跡一郭の北半には倉庫や工房跡・南半には殿舎等の建物跡というようにまとまった配置をとる可能性があり、今回の調査区について言えば館跡の西半にあたることが想定されるもので、調査区外の西～南方面に一郭に限る堀跡や沢状地形が存在する蓋然性が高い。

なお、東側隣接地において平成25年度調査時にSD01とSI01・SI03間で確認された西側及び南側に庇の付く東西棟とみられる大型の掘立柱建物跡（東西20m・南北12m以上）は、その位置や規模からみて館跡の主要建物の一つである可能性が考えられる。

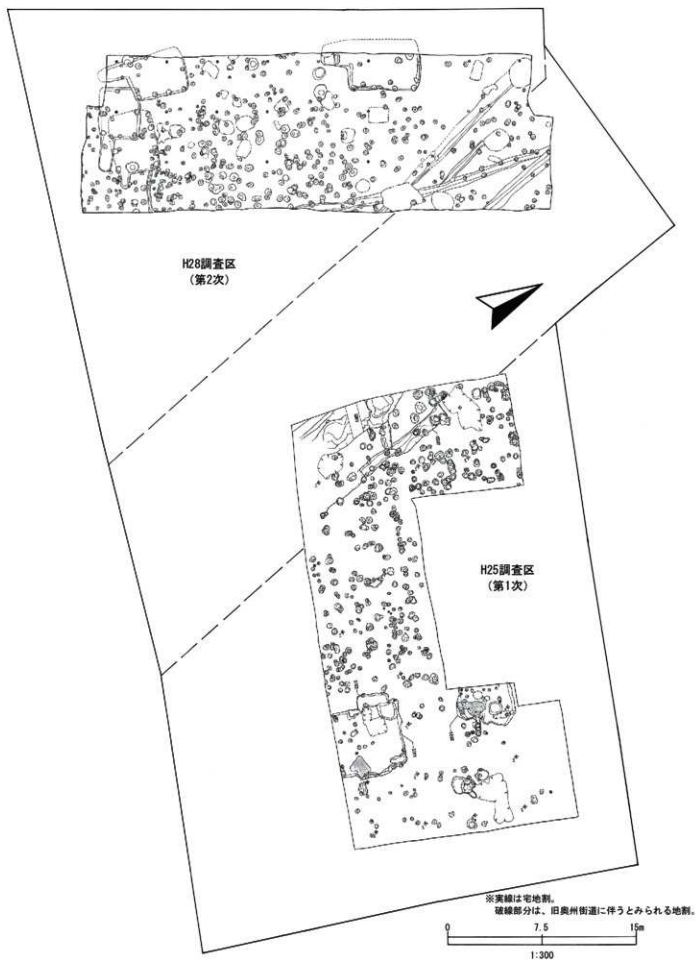
出土遺物が少なく判然としなが、掘立柱建物跡には14世紀代の時期が想定できるものが含まれ、また掘立柱建物跡を構成する柱穴の切り合い状況や堅穴建物跡の重複状況等からみて少なくとも2～3期の時期変遷が存在するとみられるため、このことについて今後は周辺域の調査により検証していきたい。

〔近世の遺構・遺物〕江戸時代初期（17世紀代）に道中の松並木とともに整備された「奥州街道」（五街道の一つ、江戸日本橋を起点に津軽外が浜以北へ続く南北の主要道）に関わる地割（幅員16～17m）に沿った区画溝もしくは側溝とみられる溝跡が2条以上検出された。一般的に、奥州街道の幅員は3間（5.4m）前後とされている（板橋源・佐々木博康著「北上市一里塚」）ため、この地割幅は道路本体に加え両側の並木及び緩衝地帯等を含めたものと推定できる。今次調査で検出された4号溝とH25調査時のSD02溝跡はそれぞれこの地割とはほぼ一致している。一方で、今次調査で確認された1号溝は、4号溝の5～5.6m（約3間前後）程西側（内側）にあり、道路本体の西側側溝の可能性が高い。さらに、C2及びD3グリッド付近で確認された木根状の攪乱は、位置からみて現存しない旧松並木の西側列である可能性が高く、またA2・B2間及びD4グリッド付近の攪乱も植え替え等に伴う同様のものである可能性がある。今回、部分的な調査につき明らかに出来なかった街道の全体的な構造の解明や街道近辺に所在すると想定される近世の建物跡等の検討についても、今後の周辺部調査により検証を続けていきたい。

関連事項として、南は現在の市立南城小学校敷地付近から北は館跡北側を限る堀跡とみられる沢までの区間は段丘東縁を旧国道が通っているが、これは昭和時代に新たに切り替えられたものであり、それ以前は今次調査区を通りくの字状に屈曲し、その中程で岩崎道（古道）と交差していたものであることが、一帯に残された地割や今次の調査成果、さらに小学校敷地内周辺に現存する市指定文化財「奥州街道名残りの松」の所在等からも明らかになった。

〔主要参考文献〕

- ・中川久夫他(1963b)「北上川中流域の第四系および地形 北上川流域の第四系地史(2)」『地質学雑誌 第96巻 第811』
- ・渡辺満久(1991)「北上低地帯における河成段丘面の編年および後期更新世における岩屑供給」『第四紀研究 第30巻 第1号』
- ・小岩直人(2001)「花巻市および宿内遺跡周辺の地形」『花巻市埋蔵文化財調査報告書 第26集 宿内遺跡』
- ・(株)高橋重機・花巻市教育委員会(2014)「花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書 第17集 特別養護老人ホーム建設関連遺跡発掘調査報告書 平成25年度調査 上館遺跡」



第16図 H25（第1次）調査区と今回の調査区



遺跡遠景（東から）



調査前現況（南から）

写真図版1 調査区遠景ほか



北半の遺構検出状況（南西から）



南半の遺構検出状況（南西から）



北半の完掘後全景（南西から）



南半の完掘後全景（南西から）

写真図版 2 調査区全景ほか



全景（南から）



南北断面（東から）



p7 断面（南西から）

写真図版 3 1号竖穴建物跡



重複する2～4号竪穴建物跡 全景（東から）



全景（西北から）

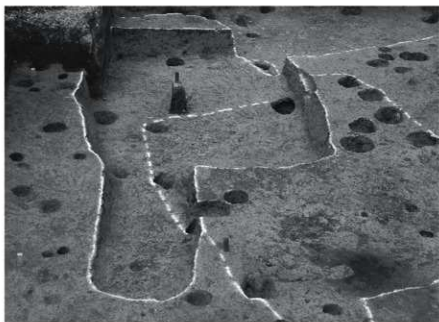


東西断面（南から）



柱穴検出状況（西から）

写真図版4 2号竪穴建物跡ほか



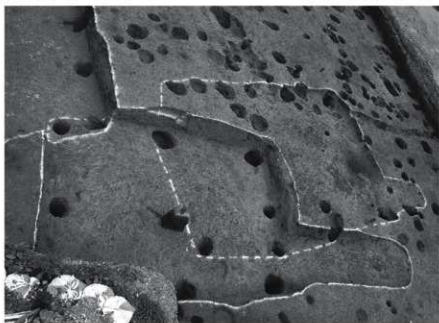
3号竪穴建物跡 全景（東から）



3号竪穴建物跡 南北断面（東から）



3号竪穴建物跡 p4断面（南から）



4号竪穴建物跡 全景（南西から）

写真図版5 3・4号竪穴建物跡



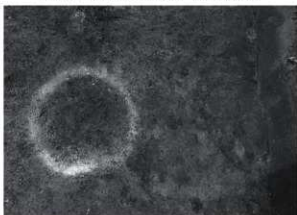
1号焼土 検出状況（南から）



1号焼土下層 p189・190・202 断面（南から）



2号焼土 検出状況（南から）



3・4号焼土 検出状況



3号焼土 断面（南から）



4号焼土 調査区東壁断面（西から）



1～4号溝跡 全景 (北西から)



1号溝跡 全景 (南から)



1号溝跡 調査区東壁断面 (西から)

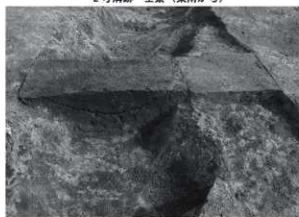


1号溝跡 断面 (南から)

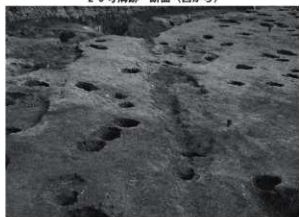
写真図版7 溝跡 (1)



2号溝跡 全景 (東南から)



2-3号溝跡 断面 (西から)



4号溝跡 全景 (北西から)



4号溝跡 断面 (南から)



小溝跡 全景 (西から)



小溝跡 断面 (西から)

写真図版 8 溝跡 (2)



1号土坑 全景 (東から)



2号土坑 断面 (南東から)



3号土坑 全景 (南から)



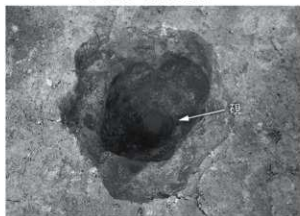
3号土坑 断面 (南から)



5号土坑 全景 (西から)



5号土坑 断面 (西から)



p128 [06] 下層 硯出土状況 (南から)

写真図版9 土坑・柱穴 (1)



p295 [C8] 全景 (南から)



p295 [C8] 断面 (南から)



(上左)p320・(上右)p327・(下左)p324・(下右)p325 [D8] 全景 (南から)



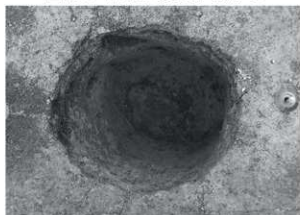
p324・p325 [D8] 断面及び破石の出土状況 (左上) (南から)



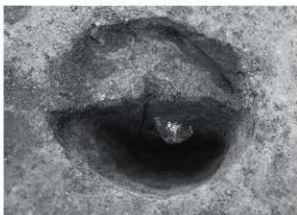
(上) p376・(下) p345 [D8] 全景 (西南から)



p345 [D8] 断面 (西南から)



p419 [D10] 全景 (南から)



p419 [D10] 断面 (南から)

写真図版 10 柱穴 (2)

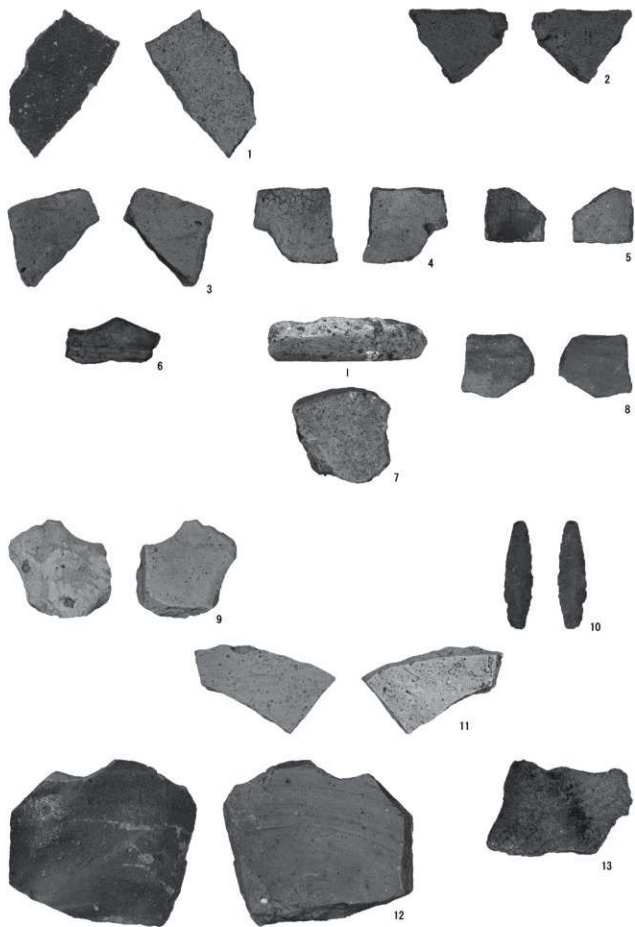


南城小学校の敷地内に残る旧奥州街道の松並木（北西から）

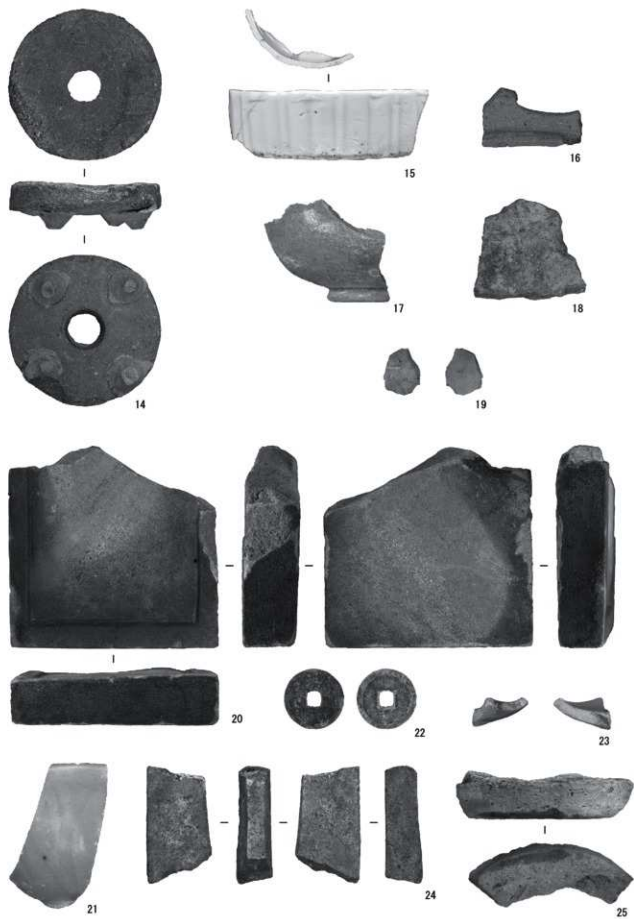


8月11日（祝日）実施の一般向け現地説明会（北西から）

写真図版 11 奥州街道の松並木ほか



写真図版 12 1~4号竪穴建物跡出土遺物



写真図版 13 溝跡・柱穴・ピット内及び遺構外出土遺物

報告書抄録

ふりがな	とくべつようごらうじんほーむべつくせつつかんれんいせきほくつちようきほうこくしょへいせい28ねんちようきかみだていせき
書名	特別養護老人ホーム別棟建設関連遺跡発掘調査報告書 平成28年度調査 上館遺跡
副書名	
シリーズ名	花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	第22集
編著者名	酒井宗孝・橋本征也・菊池賢
遺物実測図	浅沼めぐみ
遺物写真撮影	高橋 純・吉田宗平
遺物写真編集	高橋 純・吉田宗平
編集機関	花巻市教育委員会 文化財課
所在地	〒028-3163 岩手県花巻市石鳥谷町八幡4-161 電話 0198-45-1311
発行年月日	平成30(2018)年2月28日

所取遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
上館遺跡 <small>カミダテイセキ</small>	花巻市 南城 106-7、107-1	032051	ME36-0172	39度 22分 16秒	141度 7分 17秒	2016年 6月20日 ～8月30日	458㎡	特別養護 老人ホーム 別棟 建設

所取遺跡	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
上館遺跡	城館跡、 集落跡	中・近世、 縄文、 平安	堀跡、 竪穴建物跡、 溝跡、柱穴	陶磁器、土師器・須恵器、縄文土器

要 約

上館遺跡	中世の竪穴建物跡4棟や多数の柱穴跡、中世から近世以降にかけての溝跡4条（うち3条は近世の奥州街道に関わるもの）ほかが発見された。出土遺物は少ないが、検出された遺構からみて一帯は中世に権貴氏家臣・十二丁目伊藤氏の城館・上館として利用されていたこと、後の近世（南部氏による盛岡藩政期）には付近に奥州街道が整備されたことが判明した。
------	---

花巻市埋蔵文化財発掘調査報告書 第22集

**特別養護老人ホーム別棟建設関連遺跡
発掘調査報告書**

平成28年度調査

上館遺跡

平成30年2月28日

発行 花巻市教育委員会 教育長 佐藤 勝
〒028-3163 岩手県花巻市石鳥谷町八幡4-161

T E L (0198) 45-1311

F A X (0198) 45-1322

印刷 川嶋印刷株式会社
〒021-0822 岩手県一関市上大槻街3-11

T E L (0191) 46-4161